

# 東京医療保健大学学則

## 第1章 総則

(本学の建学の精神・理念・目的)

第1条 本学は、教育基本法に基づき学校教育法の定める大学として、また私立学校法に従い、知識社会が実現すると予想される21世紀において、建学の精神である「科学技術に基づく正確な医療保健の学問的教育・研究及び臨床活動」、「寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神」に則り、医療分野において特色ある教育研究を実践することで、時代の求める豊かな人間性と教養を備え、これからの社会が抱える様々な課題に対して、新しい視点から総合的に探求し解決することの出来る人材の育成を目的とする。

(医療保健学部の理念・目的)

第1条の2 医療保健学部に看護学科、医療栄養学科及び医療情報学科を設置し、医療保健学部においては「ますます高度化する医療保健活動に対応し、グローバルな視点で活動できる高度な知識・技術を持った専門職の育成」、「医療保健活動のチーム化を踏まえ、他の専門職と協調して医療保健活動を遂行できる人材の育成」及び「医療保健活動の原点とも言うべき「現場」に興味を持ち、「現場」を愛する専門職の育成」を図るとともに、「教育研究成果のエッセンスを相互に提供し合うことで幅広い視野を持った専門職及びチーム医療人として協調・協力が出来る人材の育成」を図る。

(医療保健学部看護学科の理念・目的)

第1条の3 医療保健学部看護学科においては、「新しい時代のニーズに対応した看護師及び保健師の養成」、「本学の教育環境を活かした、医療現場におけるチーム医療の中核として活躍できる人材の育成」及び「看護師に必要不可欠な幅広い人間観を有する専門職の養成」を図る。

(医療保健学部医療栄養学科の理念・目的)

第1条の4 医療保健学部医療栄養学科においては、「新しい時代のニーズに合った医療を意識した管理栄養士の養成」、「栄養学分野の高度専門職として、チーム医療において他の関連専門職とともに的確に責務を果たせる栄養サポートチームの中核として活躍できる人材の育成」及び「人間存在の根源的問題である「食」に取り組むために必要不可欠な幅広い人間観を有する専門職の養成」を図る。

(医療保健学部医療情報学科の理念・目的)

第1条の5 医療保健学部医療情報学科においては、「医療現場を理解することで、病院等の現場及び医療・健康に関する企業等で、情報技術の専門職として活躍できる人材の育成」及び「医療保健の専門職に必要不可欠な幅広い人間観を有する専門職の養成」を図る。

(東が丘・立川看護学部理念・目的)

第1条の6 東が丘・立川看護学部看護学科を設置し、「変化する時代を幅広く見据えながら、専門職として自律性を持ち、臨床判断し、確かな看護の実践能力をもって発展的に未来の看護を創造しうる看護職の育成」を図るとともに、「臨床に強い高度医療に対応した、高度な看護実践能力を身につけた看護職の育成」、「自分で考え、判断し、行動できる自律した看護職の養成」及び「医療現場でチーム医療の中心的存在となり、コーディネーター役を果たせる看護職の育成」を図る。

(東が丘看護学部理念・目的)

第1条の7 東が丘看護学部看護学科を設置し、変化する時代を幅広く見据えながら、専門職として自律性を持ち、確かな看護の実践能力をもって将来の看護を発展的に創造しうる看護職の育成を図るとともに、寛容と温かみのある人間性と看護実践能力を中心に自己啓発能力、キャリア開発能力を養い、将来の日本の医療保健福祉を支える実践力を備えた看護師＝“tomorrow's Nurse”の育成を図る。

(立川看護学部理念・目的)

第1条の8 立川看護学部看護学科を設置し、寛容と温かみのある人間性と生命に対する畏敬の念を尊重する精神を持ち、変化する時代を幅広く見据えながら、専門職として自律性を持ち、確かな看護の実践能力をもって将来の看護を発展的に創造しうる看護職を育成するとともに、人々の健康を支援することができる看護の実践力、災害時の健康危機に対応することができる災害対応能力及び看護を探究する能力を兼ね備えた、地域社会の医療・保健・福祉の将来を専門職として支えていく“地域から信頼される Nurse”の育成を図る。

(千葉看護学部理念・目的)

第1条の9 千葉看護学部看護学科を設置し、「確かな情報収集力と倫理観をもとに創造力を伸張」し、「高度な看護アセスメント能力と看護技術を持ちながら自己研さんし続ける」ことができ、「地域で暮らす人々の生活を見すえた看護ケアを提供しうる看護職」の育成を図る。

(和歌山看護学部理念・目的)

第1条の10 和歌山看護学部看護学科を設置し、変化する時代、社会を幅広く見据えながら、自律した専門職として、豊かな人間性と倫理観、高い看護実践能力をもち、発展的に地域社会の看護を創造しうる看護職の育成を図る。

(名称)

第2条 本学は、東京医療保健大学と称する。

(位置)

第3条 本学は、東京都品川区東五反田四丁目1番17号、東京都世田谷区世田谷三丁目11番3号、東京都目黒区東が丘二丁目5番1号、東京都立川市緑町3256番地、千葉県船橋市海神町西1丁目1042番地2及び和歌山県和歌山市東坂ノ上丁3番地に設置する。

## 第2章 自己評価及び第三者評価等

(自己点検・評価)

第4条 本学は、教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

2 本学に自己点検・評価を行うため、東京医療保健大学自己点検・評価委員会を独立した特別委員会として設置する。

3 自己点検・評価に関する事項は別に定める。

(第三者評価)

第5条 自己点検・評価報告書を、一定の期間ごとに作成し、文部科学大臣の認証を受けた「認証評価機関」の評価を受ける。

(情報の積極的な公開)

第6条 本学は、大学経営の透明性を高め社会に対する説明責任を果たすため、学内における教育研究活動の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を公開する。

## 第3章 学科、定員及び修業年限

(学部及び学科)

第7条 本学に医療保健学部、東が丘・立川看護学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部を設け、次の学科を置く。

医療保健学部 看護学科、医療栄養学科、医療情報学科。

東が丘・立川看護学部 看護学科。

東が丘看護学部 看護学科。

立川看護学部 看護学科。

千葉看護学部 看護学科。

和歌山看護学部 看護学科。

2 東が丘・立川看護学部看護学科に臨床看護学コース及び災害看護学コースを置く。

(学生定員)

第8条 本学の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部及び学科名		入学定員	収容定員
医療保健学部	看護学科	100名	400名
	医療栄養学科	100	400
	医療情報学科	80	320
	計	280	1,120
東が丘・立川看護学部	看護学科	0	0
東が丘看護学部	看護学科	100	400
立川看護学部	看護学科	100	400
千葉看護学部	看護学科	100	400
和歌山看護学部	看護学科	90	360
合計		670	2,680

(修業年限及び在学年限)

第9条 本学の修業年限は4年とする。在学期間は、8年を超えることはできない。  
ただし、編入学、転入学及び再入学した者はその者が在学すべき年数の2倍に相当する年数を超えて在学することができない。

#### 第4章 教育課程及び授業科目の設置等

(教育課程)

第10条 教育課程は、本学の教育上の目標を達成するために必要な授業科目を開  
設し、体系的に編成するものとする。

(副専攻)

第10条の2 前条により編成する教育課程として、特定の分野または課題の授業  
科目で構成する副専攻を設置し、その学修成果を認定することができる。

2 副専攻に関して必要な事項は別に定める。

(授業科目の設置等)

第10条の3 医療保健学部、東が丘・立川看護学部、東が丘看護学部、立川看護学  
部、千葉看護学部、和歌山看護学部教育上の目的を達成するために必  
要な授業科目を置く。

2 医療保健学部の授業科目は、「いのち・人間の教育分野(全学科共通)」、「医療  
のコラボレーション教育分野(全学科共通)」、「専門職の教育分野(各学科毎)」、  
「養護教諭教職課程(看護学科)」及び「栄養教諭教職課程(医療栄養学科)」  
で構成する。

3-(1) 東が丘・立川看護学部(平成23年度入学生まで適用)

東が丘・立川看護学部の授業科目は、「基礎分野(人間理解と自然科学)」、「専  
門基礎分野(健康問題の解決)」及び「専門分野(あらゆる状況の対象への看  
護とキャリア開発)」で構成する。

3-(2) 東が丘・立川看護学部(平成24年度入学生から適用)

東が丘・立川看護学部の授業科目は、「基盤分野」、「専門基礎分野」及び「専  
門分野」で構成する。

3-(3) 東が丘・立川看護学部(平成27年度入学生から適用)

東が丘・立川看護学部の授業科目は、「基礎分野」、「専門基礎分野」、「専門分  
野」及び「統合分野」で構成する。

4 東が丘看護学部(令和2年度入学生から適用)

東が丘看護学部の授業科目は、「基礎分野」、「専門基礎分野」、「専門分野」、  
「統合分野」で構成する。

5-(1) 立川看護学部(令和2年度入学生から適用)

立川看護学部の授業科目は、「基礎分野」、「専門基礎分野」、「専門分野」、「統  
合分野」で構成する。

5-(2) 立川看護学部(令和4年度入学生から適用)

立川看護学部の授業科目は、「基礎分野」、「専門基礎分野」、「専門分野」で構  
成する。

6 千葉看護学部(平成30年度入学生から適用)

千葉看護学部の授業科目は、「いのち・人間の教育分野」、「専門職の教育分野」

及び「養護教諭教職課程」で構成する。

7- (1) 和歌山看護学部(平成 30 年度入学生から適用)

和歌山看護学部の授業科目は、「豊かな人間性を育む分野」、「看護の基盤をつくる分野」、「看護実践能力を高める分野」及び「養護教諭教職課程」で構成する。

7- (2) 和歌山看護学部(令和 4 年度入学生から適用)

和歌山看護学部の授業科目は、「教養分野」、「専門分野」及び「養護教諭教職課程」で構成する。

(授業科目の種類及び単位等)

第 1 1 条 前条の授業科目の種類及び単位等は、別表第 1、別表第 2、別表第 3、別表第 4、別表第 5 及び別表第 6 のとおりとする。

(授業の方法)

第 1 2 条 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業については、文部科学大臣が定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

(単位の算定基準)

第 1 3 条 1 単位の授業科目は、45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業における教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、おおむね 15 時間から 30 時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって 1 単位とする。

(2) 実験及び実習については、30 時間から 45 時間までの範囲で別に定める時間の授業をもって 1 単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、その学修の成果を考慮して単位数を定めることがある。

(授業期間)

第 1 4 条 各授業科目の授業は、十分な教育効果を上げることができるよう、学長が別に定める適切な期間（以下「学事歴」という。）を単位として行う。

(履修単位の認定)

第 1 5 条 授業科目を履修し、その試験その他の学長が定める適切な方法により学修の成果の評価に合格した者には、所定の単位を与える。

(成績の評価)

第 1 6 条 授業科目の試験の成績は、S、A、B、C、D の評価で表し、C 以上を合格とし、D は不合格とする。

## 第 5 章 履修・卒業・国家試験受験資格

(医療保健学部の卒業要件)

第 1 7 条 医療保健学部学生の卒業要件は、授業科目の区分ごとに定める最低履修単位数を満たすとともに、別に定める履修規程に従って履修し、合計 126 単

位以上を修得しなければならない。

- 2 卒業要件として修得すべき単位数のうち、第12条2項に定める授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。
- 3 第1項の授業科目の区分ごとに最低履修単位数は、各学科により、以下のとおりとする。

(1)-1 看護学科（平成20年度入学生まで適用）＜削除＞

(2)-2 看護学科（平成21年度入学生及び平成22年度入学生限り適用）

＜削除＞

(1)-3 看護学科（平成23年度入学生限り適用）＜削除＞

(1)-4 看護学科（平成24年度入学生から適用）

「いのち・人間の教育分野」については12単位、「医療のコラボレーション教育分野」については18単位、「専門職の教育分野」については83単位、上記3分野からの選択科目13単位の合計126単位以上とする。

(2)-1 医療栄養学科（平成22年度入学生限り適用）＜削除＞

(2)-2 医療栄養学科（平成23年度入学生限り適用）＜削除＞

(2)-3 医療栄養学科（平成24年度入学生から平成27年度入学生まで適用）

＜削除＞

(2)-4 医療栄養学科（平成28年度入学生から適用）

「いのち・人間の教育分野」については14単位、「医療のコラボレーション教育分野」については20単位、「専門職の教育分野」については80単位、上記3分野からの選択科目12単位の合計126単位以上とする。

(3)-1 医療情報学科（平成18年度及び平成20年度入学生に適用）＜削除＞

(3)-2 医療情報学科（平成19年度入学生に適用）＜削除＞

(3)-3 医療情報学科（平成21年度入学生及び平成22年度入学生限り適用）

＜削除＞

(3)-4 医療情報学科（平成23年度入学生限り適用）＜削除＞

(3)-5 医療情報学科（平成24年度入学生から平成27年度入学生まで適用）

＜削除＞

(3)-6 医療情報学科（平成28年度入学生から平成31年度入学生まで適用）

「いのち・人間の教育分野」については12単位、「医療のコラボレーション教育分野」については20単位、「専門職の教育分野」については70単位、上記3分野からの選択科目24単位以上の合計126単位以上とする。

(3)-7 医療情報学科（令和2年度入学生から令和4年度入学生まで適用）

「いのち・人間の教育分野」については12単位、「医療のコラボレーション教育分野」については20単位、「専門職の教育分野」については68単位、上記3分野からの選択科目26単位以上の合計126単位以上とする。

(3)-8 医療情報学科（令和5年度入学生から適用）

「いのち・人間の教育分野」については12単位、「医療のコラボレーション教育分野」については13単位、「専門職の教育分野」については41単位、上記3分野からの選択科目60単位以上の合計126単位以上とする。

第17条の2 東が丘・立川看護学部学生の卒業要件は、授業科目の区分ごとに定める最低履修単位数を満たすとともに、別に定める履修規程に従って履修し、合計129単位以上を修得しなければならない。

2 卒業要件として修得すべき単位数のうち、第12条2項に定める授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

3 第1項の授業科目の区分ごとの最低履修単位数は、以下のとおりとする。

(1)-1 看護学科（平成23年度入学生まで適用）＜削除＞

(1)-2 看護学科（平成24年度及び25年度入学生限り適用）

「基盤分野」については16単位、「専門基礎分野」については30単位、「専門分野」については78単位、上記3分野からの選択科目5単位の合計129単位以上とする。

(1)-3 看護学科（平成26年度入学生限り適用）

臨床看護学コース及び災害看護学コースにおいては、「基盤分野」については16単位、「専門基礎分野」については30単位、「専門分野」については77単位、上記3分野からの選択科目6単位の合計129単位以上とする。

(1)-4 看護学科（平成27年度入学生から適用）

臨床看護学コース及び災害看護学コースにおいては、「基礎分野」については16単位、「専門基礎分野」については30単位、「専門分野」については54単位、「統合分野」については23単位、上記4分野からの選択科目6単位の合計129単位以上とする。

（東が丘看護学部の卒業要件）

第17条の3 東が丘看護学部学生の卒業要件は、授業科目の区分ごとに定める最低履修単位数を満たすとともに、別に定める履修規程に従って履修し、合計124単位以上を修得しなければならない。

2 卒業要件として修得すべき単位数のうち、第12条2項に定める授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

3 第1項の授業科目の区分ごとの最低履修単位数は、以下のとおりとする。

(1)-1 看護学科（令和3年度入学生まで適用）

「基礎分野」については16単位、「専門基礎分野」については30単位、「専門分野」については54単位、「統合分野」については23単位、上記4分野からの選択科目6単位の合計129単位以上とする。

(1)-2 看護学科（令和4年度入学生から適用）

「基礎分野」については14単位、「専門基礎分野」については29単位、「専門分野」については59単位、「統合分野」については14単位、上記4分野からの選択科目8単位の合計124単位以上とする。

（立川看護学部の卒業要件）

第17条の4 立川看護学部学生の卒業要件は、授業科目の区分ごとに定める最低履修単位数を満たすとともに、別に定める履修規程に従って履修し、合計130単位以上を修得しなければならない。

2 卒業要件として修得すべき単位数のうち、第12条2項に定める授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。

3 第1項の授業科目の区分ごとの最低履修単位数は、以下のとおりとする。

(1) - 1 看護学科 (令和 3 年度入学生まで適用)

「基礎分野」については 15 単位、「専門基礎分野」については 30 単位、「専門分野」については 53 単位、「統合分野」については 25 単位、上記 4 分野からの選択科目 6 単位の合計 129 単位以上とする。

(1) - 2 看護学科 (令和 4 年度入学生から適用)

「基礎分野」については 16 単位、「専門基礎分野」については 32 単位、「専門分野」については 77 単位、上記 3 分野からの選択科目 5 単位の合計 130 単位以上とする。

(千葉看護学部の卒業要件)

第 17 条の 5 千葉看護学部学生の卒業要件は、授業科目の区分ごとに定める最低履修単位数を満たすとともに、別に定める履修規程に従って履修し、合計 126 単位以上を修得しなければならない。

2 卒業要件として修得すべき単位数のうち、第 12 条 2 項に定める授業の方法により修得する単位数は 60 単位を超えないものとする。

3 第 1 項の授業科目の区分ごとの最低履修単位数は、以下のとおりとする。

看護学科(平成 30 年度入学生から適用)

「いのち・人間の教育分野」については 15 単位、「専門職の教育分野」については 100 単位、上記 2 分野からの選択科目 11 単位の合計 126 単位以上とする。

4 第 1 項の授業科目の区分ごとの最低履修単位数は、以下のとおりとする。

看護学科(令和 4 年度入学生から適用)

「いのち・人間の教育分野」については 15 単位、「専門職の教育分野」については 101 単位、上記 2 分野からの選択科目 10 単位の合計 126 単位以上とする。

(和歌山看護学部の卒業要件)

第 17 条の 6 和歌山看護学部学生の卒業要件は、授業科目の区分ごとに定める最低履修単位数を満たすとともに、別に定める履修規程に従って履修し、合計 126 単位以上を修得しなければならない。

2 卒業要件として修得すべき単位数のうち、第 12 条 2 項に定める授業の方法により修得する単位数は 60 単位を超えないものとする。

3 第 1 項の授業科目の区分ごとの最低履修単位数は、以下のとおりとする。

(1) - 1 看護学科(平成 30 年度入学生から適用)

「豊かな人間性を育む分野」については 14 単位、「看護の基盤をつくる分野」については 33 単位、「看護実践能力を高める分野」については 66 単位、上記 3 分野からの選択科目 13 単位の合計 126 単位以上とする。

(1) - 2 看護学科(令和 4 年度入学生から適用)

「教養分野」については 18 単位、「専門分野」については 91 単位、上記 2 分野からの選択科目 17 単位の合計 126 単位以上とする。

(国家試験受験資格)

第 18 条 医療保健学部看護学科、東が丘・立川看護学部看護学科、東が丘看護学部看護学科、立川看護学部看護学科、千葉看護学部看護学科、和歌山看護学部看護学科並びに医療保健学部医療栄養学科の卒業要件を満たした者は、次



の国家試験の受験資格を取得できるものとする。

(1) 医療保健学部看護学科

看護師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者  
看護師

保健師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者  
保健師

(2) 東が丘・立川看護学部看護学科

看護師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者  
看護師

(3) 東が丘看護学部看護学科

看護師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者  
看護師

(4) 立川看護学部看護学科

看護師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者  
看護師

(5) 千葉看護学部看護学科

看護師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者  
看護師

保健師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者  
保健師

(6) 和歌山看護学部看護学科

看護師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者  
看護師

保健師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者  
保健師

(7) 医療保健学部医療栄養学科

管理栄養士国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者  
管理栄養士

(教育職員免許状の資格取得)

第18条の2 第10条及び第11条に定める単位を修得した上、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所定の科目を履修し、その単位を修得した者は、次の教育職員免許状の資格を取得することができる。

学部	学科	教育職員免許状の種類
医療保健学部	看護学科	養護教諭一種免許状 養護教諭二種免許状
	医療栄養学科	栄養教諭一種免許状
千葉看護学部	看護学科	養護教諭一種免許状
		養護教諭二種免許状
和歌山看護学部	看護学科	養護教諭一種免許状
		養護教諭二種免許状

(他の大学又は短期大学等における授業科目の履修等)

第19条 教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学等において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことがある。

2 前項に基づき、本学と単位互換協定を結んだ他の大学で単位互換履修生等として授業科目を履修し修得した単位について、前項の60単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすものとする。

3 第1項の規定は、外国の大学へ留学する場合についても準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第20条 教育上有益と認めるときは、学生が行う大学以外の教育施設等における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることがある。

2 前項により与えることができる単位数は、前条により大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

第21条 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学等において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことがある。

2 教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に前条第1項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることがある。

3 前2項により修得したものとみなし、別に定めるところにより単位を与えることのできる単位数は、編入学・転入学等の場合を除き、本学において取得した単位以外のものについては、第15条及び第16条により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(卒業及び学位授与)

第22条 本学に4年以上在学し、第14条による所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得した者を卒業とし、学士の学位を授与する。

(学位の種類)

第23条 本学を卒業した者には、学士の学位を授与し、学位記に専攻分野を次のとおり付記する。

(1) 医療保健学部看護学科、東が丘・立川看護学部看護学科、東が丘看護学部看護学科、立川看護学部看護学科、千葉看護学部看護学科、和歌山看護学部看護学科：学士(看護学)。

(2) 医療保健学部医療栄養学科：学士(医療栄養学)。

(3) 医療保健学部医療情報学科：学士(医療情報学)。

## 第6章 学年・学期・休業

(学年)

第24条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(学期)

第25条 学年を分けて次の2学期とし、さらに各学期を前半と後半に分けて運用する。

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(休業日)

第26条 本学における休業日は次のとおりとする。

- (1)日曜日。
- (2)土曜日。
- (3)国民の祝日に関する法律に規定する休日。
- (4)その他理事長が指定した日。

2 必要であると認める場合は、前項の定めにかかわらず、臨時に休業日を設け、又は休業日を変更することがある。

## 第7章 入学・休学等

(入学の時期)

第27条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第28条 入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者。
- (2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
- (3)外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
- (4)文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
- (5)文部科学大臣の指定した者。
- (6)高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）。
- (7)本学において、相当の年齢に達し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

(入学志願手続き)

第29条 入学志願者は、本学所定の入学願書に所定の検定料及び別に定める書類を添え、願い出ねばならない。

(入学者の選考)

第30条 前条の入学志願者については、別に定めるところにより、選考を行う。

(入学手続き)

第31条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、直ちに保証人を定め、別に定める所定の手続きをしなければならない。

(入学許可)

第32条 前条の入学手続きを完了した者には学長が入学を許可する。

(休学)

第33条 学生が疾病その他やむを得ない事由によって2ヶ月以上修学することができないときは、その事由を示す書面を添え、保証人と連署して学長に願い出ることとし、学長の許可を得て休学することができる。

- 2 休学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由がある場合は、新たに休学願いを提出し、学長の許可を得て休学期間を延長することができる。
- 3 休学期間は、通算して4年を超えることができない。
- 4 休学期間は、第9条の在学期間には算入しない。
- 5 休学期間については、別に定めるところにより学費を減額する。

(復学)

第34条 休学者が復学しようとするときは、保証人と連署の復学願いを学長に提出し、許可を受けなければならない。

(留学)

第35条 外国の大学で学修することを希望する者は、学長の許可を得て留学することができる。

- 2 前項の許可を得て留学した期間は、在学期間を含めることができる。

(編入・転入学・再入学)

第36条 次の各号に該当する者で、本学への入学を志望する者があるときは、選考のうえ、学長が相当年次に入学を許可することがある。

- (1) 大学を卒業した者又は退学した者。
- (2) 短期大学、高等専門学校等を卒業した者。
- (3) 本学の退学者又は卒業生で再び入学を願い出た者。
- 2 前項により入学を許可された者のすでに履修した授業科目及び単位数並びに在学すべき年数については、その取り扱いを別に定めることとする。

(転学科)

第37条 本学の他学科への転学科を志望する者があるときは、選考のうえ、学長が相当年次に転学科を許可することがある。

- 2 前項により転学科を許可された者のすでに履修した授業科目及び単位数並びに在学すべき年数については、その取り扱いを別に定めることとする。

(他大学への転学)

第38条 本学から他大学に転学しようとする者は、事由を記して学長に願い出て許可を得なければならない。

(退学)

第39条 疾病その他の事由により退学しようとするときは、保証人と連署の退学願いを学長に提出し、許可を受けなければならない。

(除籍)

第40条 次の各号の一に該当するものは学長が除籍する。

- (1) 学費を滞納し督促を受けても納入しない者。
- (2) 在学年数8年を超えた者。
- (3) 休学期間満了になっても復学願いを提出しない者。
- (4) 死亡した者又は長期間にわたり行方不明の者。

(休学等の手続き)

第40条の2 第33条(休学)～第40条(除籍)に係る手続きについては、学長が別に定める。

## 第8章 検定料・学費及び諸納金

(学費及び諸納金)

第41条 医療保健学部、東が丘・立川看護学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部の検定料は別表第9、医療保健学部、東が丘・立川看護学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部の入学金、授業料、施設費、維持費、実験実習費及び諸納金は別表第10に定めるとおりとする。なお、その納入については、別に定める規程によるものとする。

- 2 助産学専攻科の検定料、学費及び諸納金は、別表第11、和歌山助産学専攻科の検定料、学費及び諸納金は、別表第12に定めるとおりとする。
- 3 医療保健学部、東が丘・立川看護学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部の科目等履修生及び研究生の学費については、別表第13及び別表第14に定めるとおりとする。
- 4 休学・復学・停学等の場合の授業料等については別に定めるものとする。

(学費等の返還制限)

第42条 一度納入した検定料、学費及び諸納金はこれを返還しない。

## 第9章 助産学専攻科

(目的及び構成)

第43条 本学に、助産学専攻科(以下「専攻科」という。)を置く。

- 2 専攻科に専攻科長を置き、医療保健学部看護学科長をもって充てる。
- 3 専攻科は、助産師として周産期のみならずライフサイクル全般にある女性、乳幼児、家族、地域社会を対象に、全ての女性に寄り添い、女性の内なる力を信じ、人間性を重視したケア・支援を行う専門職の育成を行うとともに、特に、問題解決能力、判断力及び実践力を基盤にし、そのスキルをもって母子保健の向上に貢献できる助産師の育成を目的とする。
- 4 専攻科の入学定員は、次のとおりとする。

専攻科	入学定員
助産学専攻科	15名

第43条の2 本学に、和歌山助産学専攻科(以下「和歌山専攻科」という。)を置く。

- 2 和歌山専攻科に専攻科長を置く。
- 3 和歌山専攻科長は、学部長の命を受け、当該専攻科の運営に関し、総括し、調整する。
- 4 和歌山専攻科長に関し必要な事項は、別に定める。
- 5 和歌山専攻科は、寛容と温かみのある豊かな人間性と生命に対する畏敬の念

を涵養し、リプロダクティブヘルス/ライツの観点で女性と母子の well-being を促進し、優れた臨床判断能力と根拠に基づいた助産実践能力を有することで、地域母子保健の向上に寄与し、時代の変化に応じて助産を創造できる助産師の育成を目的とする。

6 和歌山専攻科の入学定員は、次のとおりとする。

専攻科	入学定員
和歌山助産学専攻科	10名

(修業年限及び在学年限)

第44条 専攻科の修業年限は、1年とする。

2 専攻科の学生は、2年を超えて在学することができない。

第44条の2 和歌山専攻科の修業年限は、1年とする。

2 和歌山専攻科の学生は、2年を超えて在学することができない。

(入学資格)

第45条 専攻科及び和歌山専攻科に入学することができる者は、第1号に規定する者で、第2号以下のいずれかに該当する者とする。

(1) 看護師資格を有する女子。

(2) 大学を卒業した者。

(3) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者。

(4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者。

(5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者。

(6) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設にあって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。

(7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。

(8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)。

(編入学、転入学及び再入学)

第46条 専攻科及び和歌山専攻科への編入学、転入学及び再入学は、これを認めない。

(教育課程及び履修方法等)

第47条 専攻科の授業科目及びその単位数並びに履修方法等については、別表第7のとおりとする。ただし、特別の必要がある場合は、臨時に授業科目を開設することがある。

2 前項に規定するものの他、履修方法等について、第13条(単位の算定基準)第1項、第15条(履修単位の認定)及び第16条(成績の評価)を準用する。

第47条の2 和歌山専攻科の授業科目及びその単位数並びに履修方法等については、別表第8のとおりとする。ただし、特別の必要がある場合は、臨時に授業科目を開設することがある。

(修了)

第48条 本学の専攻科に1年以上在学し、別に定めるところにより34単位以上を修得した学生については、学長が修了を認定する。

第48条の2 本学の和歌山専攻科に1年以上在学し、別に定めるところにより38単位以上を修得した学生については、学長が修了を認定する。

(修了の認定等)

第49条 学長は、前条の規定により、修了を認定された者に、修了証書を授与する。

(助産師国家試験受験資格)

第50条 専攻科及び和歌山専攻科の修了を認定された者は、助産師国家試験の受験資格を取得できるものとする。

(規定の準用)

第51条 専攻科及び和歌山専攻科については、この章に定めるもののほか、第24条(学年)、第25条(学期)、第26条(休業日)、第27条(入学の時期)、第29条(入学志願手続き)、第30条(入学者の選考)、第31条(入学手続き)、第32条(入学許可)、第33条(休学)、第34条(復学)、第39条(退学)、第40条(除籍)、第41条(学費及び諸納金)及び第42条(学費等の返還制限)の規定を準用する。ただし、第33条第2項から第4項及び第40条第2号は、準用しない。

2 前項により規定を準用する条文中「本学」とあるのは「本学助産学専攻科」及び「本学和歌山助産学専攻科」と、「学生」とあるのは「本学助産学専攻科学生」及び「本学和歌山助産学専攻科学生」と読み替えるものとする。

## 第10章 職員組織

(職員構成)

第52条 本学職員の構成は、次のとおりとする。

学長、副学長、学部長、学科長、図書館長。

大学経営会議室長、事務局長、部長、センター長、次長、課長、係長、主任。

教育職員(教授、准教授、講師、助教、助手)。

事務職員。

その他、必要に応じて役職者を置く。

(学長)

第52条の2 学長は、学校教育法(昭和22年法律第26号)第92条第3項に基づき校務をつかさどり、職員を統督する。

2 学長に関し必要な事項は、別に定める。

(副学長)

第52条の3 本学に、副学長を置く。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

3 副学長に関し必要な事項は、別に定める。

(学部長)

第52条の4 学部に、学部長を置く。

2 学部長は、学長の命を受け、当該学部の運営に関する校務をつかさどる。

3 学部長に関し必要な事項は、別に定める。

(学科長)

第52条の5 学科に、学科長を置く。

2 学科長は、学部長の命を受け、当該学科の運営に関し、総括し、調整する。

3 学科長に関し必要な事項は、別に定める。

(図書館長)

第52条の6 図書館に、館長を置く。

2 図書館長は、学長の命を受け、図書館の運営に関する校務をつかさどる。

3 図書館長に関し必要な事項は、別に定める。

(大学経営会議室長)

第52条の7 本学に、大学経営会議室長を置く。

2 大学経営会議室長は、大学経営会議室の事務を総括する。

(事務局長)

第52条の8 本学に、事務局長を置く。

2 事務局長は、事務局の事務を掌理する。

## 第11章 大学経営会議

(大学経営会議の設置及び組織)

第53条 大学経営に関する重要な事項を審議するため大学経営会議を置く。

2 大学経営会議は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

(1)理事長。

(2)理事及び評議員の中から理事長が指名する者10名。

(3)教授会構成員の中から及び学長・副学長を含め理事長が指名する者11名。

3 理事長は大学経営会議議長となる。

4 大学経営会議の事務局として、大学経営会議室を置く。

5 大学経営会議の運営は、これを別に定める。

6 大学経営会議は、次の各号に掲げる事項を審議する。

(1)中長期計画の策定に関する事項。

(2)学則その他重要な規則の制定改廃に関する事項。

(3)大学予算案の作成及び決算処理の方針に関する事項。

(4)教員人事に関する事項。

(5)学部・学科その他重要な施設・組織の設置改廃に関する事項。

(6)学生の定員に関する事項。

(7)その他、全学に関する重要な事項及び理事会の諮問に関する事項。

(学長選考委員会の設置と組織)

第54条 大学に大学経営会議の諮問機関として学長選考委員会を置く。

2 学長選考委員会は、大学経営会議の諮問を受け学長の選考・解任について審議し、理事長に答申する。

3 学長選考委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

(1)理事・評議員の中から選出された者3名



(2) 教授会構成員の中から選出された者 2 名

第 1 2 章 学部長等会議

(学部長等会議の設置及び組織等)

第 5 5 条 大学の教学上の重要事項の企画・審議並びに連絡調整を行い大学経営会議に提案するために学部長等会議を置く。

- 2 学部長等会議は、学長、副学長、学部長、学科長、研究科長、大学経営会議室長、事務局長等をもって組織する。
- 3 学部長等会議の運営は、これを別に定める。
- 4 学部長等会議は、次の各号に掲げる事項を審議する。
  - (1) 年度計画に関する事項のうち、教育研究に関するもの。
  - (2) 学則(教育研究に関する部分に限る)その他教育研究に係る重要な規程の制定又は改廃に関する事項。
  - (3) 学生の円滑な就学等を支援するために必要な助言、指導その他の援助に関する事項。
  - (4) 学生の在籍に関する方針及び学位の授与に関する方針に係る事項。
  - (5) 各学部学科・研究科間の教育研究に係る連絡及び調整。
  - (6) 学長選考委員の選出に関する事項。
  - (7) その他教育研究に関する重要事項。

(人事委員会の設置及び組織等)

第 5 5 条の 2 医療保健学部、東が丘・立川看護学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部、助産学専攻科、大学院医療保健学研究科、大学院看護学研究科及び大学院和歌山看護学研究科に係る教員人事に関する事項について選考・審議を行い、大学経営会議に提案するため東京医療保健大学人事委員会(以下「人事委員会」という。)を置く。

- 2 人事委員会は学長、各学部長、各学科長、助産学専攻科長、各研究科長、大学経営会議室長及び事務局長をもって組織する。
- 3 人事委員会の運営等は、これを別に定める。

第 1 3 章 教授会

(教授会の設置等)

第 5 6 条 大学に、教授会を置く。

- 2 教授会は、学部長、学科長、専任の教授をもって組織し、学長及び副学長は必要に応じて出席することができる。
- 3 教授会には、准教授その他の教員を加えることができる。
- 4 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
  - (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了。
  - (2) 学位の授与。
  - (3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの。
- 5 教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長(以下「学長等」という。)がつかさどる教育研究に関する事

項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。

6 教授会の組織、運営等は、これを別に定める。

## 第14章 図書館

(図書館)

第57条 本学に図書館を置き、学生、職員、卒業生及び特に許可したものに利用させる。

2 図書館の組織及び運営に関し必要な事項は、これを別に定める。

## 第15章 研究所、センター

(研究所)

第58条 本学に東京医療保健大学総合研究所を置く。

2 東京医療保健大学総合研究所の組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(国際交流センター)

第58条の2 本学に東京医療保健大学国際交流センターを置く。

2 東京医療保健大学国際交流センターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(感染制御学教育研究センター)

第58条の3 本学に東京医療保健大学感染制御学教育研究センターを置く。

2 東京医療保健大学感染制御学教育研究センターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(メディテーションセンター)

第58条の4 本学に東京医療保健大学メディテーションセンターを置く。

2 東京医療保健大学メディテーションセンターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(放射線看護研修センター)

第58条の5 本学に東京医療保健大学放射線看護研修センターを置く。

2 東京医療保健大学放射線看護研修センターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(情報教育研究センター)

第58条の6 本学に東京医療保健大学情報教育研究センターを置く。

2 東京医療保健大学情報教育研究センターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(産後ケア研究センター)

第58条の7 本学に東京医療保健大学産後ケア研究センターを置く。

2 東京医療保健大学産後ケア研究センターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

(和歌山看護実践研究センター)

第58条の8 本学に東京医療保健大学和歌山看護実践研究センターを置く。

2 東京医療保健大学和歌山看護実践研究センターの組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

## 第16章 学長戦略本部

(学長戦略本部)

第59条 本学に東京医療保健大学学長戦略本部を置く。

2 東京医療保健大学学長戦略本部の組織及び運営に関し必要な事項は別に定める。

## 第17章 厚生施設

(保健室及び厚生施設)

第60条 本学に保健室その他の厚生施設を設ける。

## 第18章 科目等履修生、外国人留学生、研究生

(科目等履修生)

第61条 本学は、本大学の学生以外の者が授業科目の履修を願い出たときは、当該学部等の教育に支障のない限り、選考の上、科目等履修生として許可することがある。

2 科目等履修生に関する規程は、これを別に定める。

(外国人留学生)

第62条 外国人で大学における教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として、入学を許可することがある。

(研究生)

第63条 本学において、特定の専門事項について研究することを希望する者があるときは、各学部の教育研究に支障のない限り、選考の上、これを許可することがある。

2 研究生に関する規程は、これを別に定める。

(準用)

第64条 本章に定めるほか、科目等履修生、外国人留学生及び研究生については本学則の規定を準用する。ただし、第9条(修業年限及び在学年限)、第17条(医療保健学部の卒業要件)、第17条の2(東が丘・立川看護学部の卒業要件)、第17条の3(東が丘看護学部の卒業要件)、第17条の4(立川看護学部の卒業要件)、第17条の5(千葉看護学部の卒業要件)、第17条の6(和歌山看護学部の卒業要件)、第18条(国家試験受験資格)及び第19条(他の大学又は短期大学等における授業科目の履修等)は、適用しない。

## 第19章 賞罰

(表彰)

第65条 学業優秀、品行方正、課業精勤な者に対しては、卒業に際し、理事長賞、学長賞を授与する。また、学生の模範とするに足る者があるときは、これを表彰する。

(懲戒)

第66条 学長は、本学の学則または訓育の主旨に違背した学生に対し必要があると認めるときは、懲戒する。

2 前項に規定する懲戒の種類は、訓戒、停学及び退学とする。

3 前項に規定する退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者。

(2) 学業成績不良で改善の見込みがないと認められた者。

(3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者。

## 第20章 公開講座

(公開講座の設置等)

第67条 本学に公開講座を設けることがある。公開講座についてはその都度細目を定めてこれを実施する。

## 第21章 大学開放及び生涯学習事業等

(大学開放)

第68条 本学は、教育研究の成果及び知的財産を広く社会に還元する。

2 本学は、教育研究上の支障のない限りにおいて、その教育研究施設及び設備を積極的に開放する。

(生涯学習事業)

第69条 本学は医療・健康・保健に関する公開講座・公開講演会等を開催し、それを広く社会に公開し、また本学が保持している情報の提供により地域社会への貢献を積極的に行う。

(学生の課外活動)

第69条の2 学生は、社会貢献・社会活動に関する意識の涵養に努めるとともに幅広い人間性を養い健全な心身の発達を図るため、正課の授業の他、課外活動に積極的に参加することとする。

## 第22章 細則

(細則)

第70条 本学則施行についての細則その他必要な事項は別に定める。

附則

本学則は平成17年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成17年5月26日から施行する。

附則

本学則は平成17年11月9日から施行する。

附則

本学則は平成18年3月24日から施行する。

附則

本学則は平成18年5月29日から施行する。

附則

本学則は平成19年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成20年4月1日から施行する。

#### 附則

1. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「1-1. 医療保健学部 看護学科（平成20年度入学生まで適用）」及び第17条第3項のうち「(1)-1 看護学科（平成20年度入学生まで適用）」については、平成20年度入学生の卒業をもって削除する。
2. 本学則は平成21年4月1日から施行する。

#### 附則

1. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「2-1. 医療保健学部 医療栄養学科（平成18年度及び19年度入学生に適用）」「2-2. 医療保健学部 医療栄養学科（平成20年度入学生に適用）」については、各年度の入学生の卒業をもって削除する。
2. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「医療保健学部 医療情報学科の3-1. 3-2. 3-3. 」については、各適用年度の学生の卒業をもって削除する。  
また、第17条第3項(3)-1（平成18年度及び20年度入学生に適用）、(3)-2（平成19年度入学生に適用）については、各適用年度の学生の卒業をもって削除する。
3. 本学則は平成21年4月1日から施行する。

#### 附則

1. 本学則は平成22年4月1日から施行する。
2. 第3条（位置）中、「東京都目黒区東が丘二丁目5番23号」は、平成24年3月31日までとし、平成24年4月1日以降は「東京都目黒区東が丘二丁目5番1号」とする。

#### 附則

1. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「1-2. 医療保健学部 看護学科（平成21年度入学生限り適用）」については、平成21年度入学生の卒業をもって削除する。
2. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「2-3. 医療保健学部 医療栄養学科（平成21年度入学生限り適用）」については、平成21年度入学生の卒業をもって削除する。
3. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「3-4. 医療保健学部 医療情報学科（平成21年度入学生限り適用）」については、平成21年度入学生の卒業をもって削除する。
4. 本学則は平成22年4月1日から施行する。

#### 附則

本学則は平成22年10月20日から施行する。

#### 附則

1. 本学則第11条に定める別表第1のうち、「1-3. 医療保健学部 看護学科（平成22年度入学生限り適用）」については、平成22年度入学生の卒業をもって削除する。
2. 本学則は平成23年4月1日から施行する。

#### 附則

本学則は平成23年10月1日から施行する。

#### 附則

1. 本学則は平成24年4月1日から施行する。

2. 本学則第18条（国家試験受験資格）(2)に定める東が丘・立川看護学部看護学科のうち、平成23年度までの入学生については、次のとおり読み替えるものとする。

看護師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者 看護師  
保健師国家試験受験資格取得のために必要となる単位を取得した者 保健師

3. 本学則第48条（修了）に定める助産学専攻科の単位数のうち、平成23年度入学生については、次のとおり読み替えるものとする。

本学の専攻科に1年以上在学し、別に定めるところにより39単位以上を修得した学生については、学長が修了を認定する。

附則

本学則は平成25年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成25年5月29日から施行する。

附則

本学則は平成25年7月17日から施行する。

附則

本学則は平成25年12月4日から施行する。

附則

本学則は平成26年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成26年10月15日から施行する。

附則

本学則は平成27年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成28年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成29年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成30年4月1日から施行する。

附則

本学則は平成31年4月1日から施行する。

附則

本学則は令和2年4月1日から施行する。

附則

本学則は令和3年4月1日から施行する。

附則

本学則は令和4年4月1日から施行する。

附則

本学則は令和4年6月1日から施行する。

附則

本学則は令和5年4月1日から施行する。

別表第1

1-1. 医療保健学部 看護学科 (平成20年度入学生まで適用) ~

1-5. 医療保健学部 看護学科 (平成24年度入学生から平成26年度入学生まで適用)

<削除>

1-6. 医療保健学部 看護学科 (平成27年度入学生から平成29年度入学生まで適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
	比較文化論		1		1			15	
	自然科学	生物I		1	1				15
		生物II		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学I		1	1				15
		化学II		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
	スポーツ実習		1	1	1	1		30	
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話I	2		2				15
		英会話II	2		2				15
		英会話III		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
情報科学			2	2				15	
情報通信と保健医療			2		2			15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ <small>(血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)</small>	2		2				15	
		体の仕組みと働きⅡ <small>(骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)</small>	2		2				15	
		公衆衛生学	2			2			15	
		栄養学総論（基礎栄養学）	2		2				15	
		医療安全管理学 <small>(臨床工学・危機管理学・感染制御学)</small>	2			2			15	
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15	
	発展	医学・医療概論	1		1				15	
		臨床薬理学 <small>(薬理学)</small>	2		2				15	
		医療マネジメント論		2			2		15	
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15	
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15	
	実践	協働実践演習	1					1	30	
		ボランティア論	1		1				15	
		ボランティア活動		1	1				30	
	専門職の 教育分野	専門 支持	病原微生物学	2		2				15
			病態生理学	2		2				15
			治療学総論	1		1				15
			疾病治療論Ⅰ <small>(呼吸・循環・腎泌尿器系)</small>	2			2			15
疾病治療論Ⅱ <small>(骨格・筋・神経・内分泌系)</small>			2			2			15	
疾病治療論Ⅲ <small>(感覚・免疫・消化器系)</small>			2			2			15	
生活健康科学				2	2				15	
社会福祉論			2			2			15	
保健医療福祉行政学			2			2			15	
疫学・保健統計論			2			2			15	
解剖生理学演習				1			1		30	
リラクゼーション論				1			1		15	
医用機器概論				1			1		15	
代替医療論				1			1		15	



分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職 の教育分野	専門 基幹	看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助方法Ⅰ <small>(身体と生活機能の観察と援助技術の基本-バイタルサインの測定と日常生活の援助①)</small>	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ <small>(身体と生活機能の観察と援助技術の基本-フィジカルアセスメントと日常生活の援助②)</small>	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ <small>(治療・診療を受ける対象への援助)</small>	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ <small>(健康が障害された対象への援助とチーム活動-基礎)</small>	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ <small>(健康が障害された対象への援助とチーム活動-発展)</small>	1				1		30
		クリティカル・シンキングⅠ <small>(論理的アプローチの基礎)</small>	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ <small>(看護における論理的アプローチ)</small>	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ <small>(批判的思考の展開)</small>	1				1		15
		チーム活動論	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (生活援助実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護過程実習)	2			2			45
		機能看護学Ⅰ (セルフマネジメント)	2		2				15
		機能看護学Ⅱ (キャリアマネジメント)	1			1			15
	機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント)	1				1		30	
	機能看護学Ⅳ (トップマネジメント)		1				1	15	
	専門 展開	母性看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期看護援助論	2			2			15
		終末期看護援助論	2				2		15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
		老年看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		在宅看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅱ <small>(療養生活援助論)</small>	1				1		30
老年・在宅看護学実習		5				5		45	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	専門 展開	精神看護援助論Ⅰ (精神保健)	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ (精神看護)	1			1			30
		精神看護学実習	3				3		45
		公衆衛生看護援助論Ⅰ (対象別公衆衛生看護活動論)	2		2				15
		公衆衛生看護援助論Ⅱ (公衆衛生看護技術論)		2			2		15
		公衆衛生看護援助論Ⅲ (公衆衛生看護展開論)		3				3	15/30
		保健指導演習	1			1			30
		地域保健活動演習	1			1			30
		公衆衛生看護学実習		4				4	45
		養護概論		2				2	15
		学校健康相談		2				2	15
	実践 統合	国際看護論		1			1		15
		災害看護援助論	1					1	15
		看護の統合実習	2					2	45

1-7. 医療保健学部 看護学科 (平成30年度入学生限り適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
	比較文化論		1		1			15	
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
	スポーツ実習		1	1	1	1		30	
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
情報科学			2	2				15	
情報通信と保健医療			2		2			15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
医療のコラボレーション教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ <small>(血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)</small>	2		2				15	
		体の仕組みと働きⅡ <small>(骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)</small>	2		2				15	
		公衆衛生学	2			2			15	
		栄養学総論 <small>(基礎栄養学)</small>	2		2				15	
		医療安全管理学 <small>(臨床工学・危機管理学・感染制御学)</small>	2			2			15	
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15	
	発展	医学・医療概論	1		1				15	
		臨床薬理学 <small>(薬理学)</small>	2		2				15	
		医療マネジメント論		2			2		15	
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15	
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15	
	実践	協働実践演習	1					1	30	
		ボランティア論	1		1				15	
		ボランティア活動		1	1				30	
	専門職の教育分野	専門支持	病原微生物学	2		2				15
			病態生理学	2		2				15
			治療学総論	1		1				15
			疾病治療論Ⅰ <small>(呼吸・循環・腎泌尿器系)</small>	2			2			15
疾病治療論Ⅱ <small>(骨格・筋・神経・内分泌系)</small>			2			2			15	
疾病治療論Ⅲ <small>(感覚・免疫・消化器系)</small>			2			2			15	
生活健康科学				2	2				15	
社会福祉論			2			2			15	
保健医療福祉行政学			2			2			15	
疫学・保健統計論			2			2			15	
解剖生理学演習				1			1		30	
リラクゼーション論				1			1		15	
医用機器概論				1			1		15	
代替医療論				1			1		15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門基幹	看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助方法Ⅰ <small>(身体と生活機能の観察と援助技術の基本-バイタルサインの測定と日常生活の援助①)</small>	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ <small>(身体と生活機能の観察と援助技術の基本-フィジカルアセスメントと日常生活の援助②)</small>	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ <small>(治療・診療を受ける対象への援助)</small>	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ <small>(健康が障害された対象への援助とチーム活動-基礎)</small>	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ <small>(健康が障害された対象への援助とチーム活動-発展)</small>	1				1		30
		クリティカル・シンキングⅠ <small>(論理的アプローチの基礎)</small>	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ <small>(看護における論理的アプローチ)</small>	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ <small>(批判的思考の展開)</small>	1				1		15
		チーム活動論	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (生活援助実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護過程実習)	2			2			45
		機能看護学Ⅰ (セルフマネジメント)	2		2				15
		機能看護学Ⅱ (キャリアマネジメント)	1			1			15
		機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント)	1				1		30
		機能看護学Ⅳ (トップマネジメント)		1				1	15
	専門展開	母性看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期看護援助論	2			2			15
		終末期看護援助論	2				2		15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
		老年看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		在宅看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅱ <small>(療養生活援助論)</small>	1				1		30
老年・在宅看護学実習	5				5		45		

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	専門展開	精神看護援助論Ⅰ(精神保健)	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ(精神看護)	1			1			30
		精神看護学実習	3				3		45
		公衆衛生看護援助論Ⅰ (対象別公衆衛生看護活動論)	2		2				15
		公衆衛生看護援助論Ⅱ (公衆衛生看護技術論)		2			2		15
		公衆衛生看護援助論Ⅲ (公衆衛生看護展開論)		3				3	15/30
		保健指導演習	1			1			30
		地域保健活動演習	1			1			30
		公衆衛生看護学実習		4				4	45
		養護概論		2			2		15
	学校健康相談		2			2		15	
	実践統合	国際看護論		1			1		15
		災害看護援助論	1					1	15
		看護の統合実習	2					2	45
養護教諭教職課程(一種免許状)	教職に関する科目	教職への道※1	2			2			15
		教育原理	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育課程論	1			1			15
		道徳教育の理論と方法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	2				2		15
		学校教育相談	2				2		15
		養護実習 事前事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
	教職実践演習(養護教諭)	2					2	15	
	養護に関する科目	疫学・保健統計学	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		公衆衛生学	2			2			15
		公衆衛生看護援助論Ⅰ (対象別公衆衛生看護活動論)	2		2				15
		小児看護援助論Ⅰ(健康生活援助論)	2			2			15
		養護概論	2				2		15
学校健康相談		2				2		15	
栄養学総論(基礎栄養学)	2			2			15		
体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2			2			15		

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護に関する科目	体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		臨床薬理学（薬理学）	2		2				15
		精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1			1			30
		看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助実習Ⅰ（生活援助実習）	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ（看護過程実習）	2			2			45
		看護の統合実習	2					2	45
		小児看護援助論Ⅱ（臨床看護援助論）	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5					5	45
		急性期看護援助論	2			2			15
		急性期・慢性期看護学実習	5					5	45
	養護又は教職に関する科目	ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
		クリティカル・シンキングⅡ (看護における論理的アプローチ)	1			1			30
	第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15
		許状）養護教諭教職課程（二種免許状）	スポーツ科学	1		1	1	1	
	スポーツ実習		1		1	1	1		30
	日本国憲法		2				2		15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の  
共通開設科目

1-8. 医療保健学部 看護学科 (平成31年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
	比較文化論		1		1			15	
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
	スポーツ実習		1	1	1	1		30	
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
情報科学			2	2				15	
情報通信と保健医療			2		2			15	



分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ <small>(血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)</small>	2		2				15	
		体の仕組みと働きⅡ <small>(骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)</small>	2		2				15	
		公衆衛生学	2			2			15	
		栄養学総論 <small>(基礎栄養学)</small>	2		2				15	
		医療安全管理学 <small>(臨床工学・危機管理学・感染制御学)</small>	2			2			15	
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15	
	発展	医学・医療概論	1		1				15	
		臨床薬理学 <small>(薬理学)</small>	2		2				15	
		医療マネジメント論		2			2		15	
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15	
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15	
	実践	協働実践演習	1					1	30	
		ボランティア論	1		1				15	
		ボランティア活動		1	1				30	
	専門職の 教育分野	専門 支持	病原微生物学	2		2				15
			病態生理学	2		2				15
			治療学総論	1		1				15
			疾病治療論Ⅰ <small>(呼吸・循環・腎泌尿器系)</small>	2			2			15
疾病治療論Ⅱ <small>(骨格・筋・神経・内分泌系)</small>			2			2			15	
疾病治療論Ⅲ <small>(感覚・免疫・消化器系)</small>			2			2			15	
生活健康科学				2	2				15	
社会福祉論			2			2			15	
保健医療福祉行政学			2			2			15	
疫学・保健統計論			2			2			15	
解剖生理学演習				1			1		30	
リラクゼーション論				1			1		15	
医用機器概論				1			1		15	
代替医療論				1			1		15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	専門基幹	看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助方法Ⅰ <small>(身体と生活機能の観察と援助技術の基本-バイタルサインの測定と日常生活の援助①)</small>	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ <small>(身体と生活機能の観察と援助技術の基本-フィジカルアセスメントと日常生活の援助②)</small>	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ <small>(治療・診療を受ける対象への援助)</small>	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ <small>(健康が障害された対象への援助とチーム活動-基礎)</small>	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ <small>(健康が障害された対象への援助とチーム活動-発展)</small>	1				1		30
		クリティカル・シンキングⅠ <small>(論理的アプローチの基礎)</small>	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ <small>(看護における論理的アプローチ)</small>	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ <small>(批判的思考の展開)</small>	1				1		15
		チーム活動論	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (生活援助実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護過程実習)	2			2			45
		機能看護学Ⅰ (セルフマネジメント)	2		2				15
		機能看護学Ⅱ (キャリアマネジメント)	1			1			15
		機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント)	1				1		30
	機能看護学Ⅳ (トップマネジメント)		1				1	15	
	専門展開	母性看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期看護援助論	2			2			15
		終末期看護援助論	2				2		15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
		老年看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		在宅看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅱ <small>(療養生活援助論)</small>	1				1		30
老年・在宅看護学実習		5				5		45	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	専門 展開	精神看護援助論Ⅰ(精神保健)	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ(精神看護)	1			1			30
		精神看護学実習	3				3		45
		公衆衛生看護援助論Ⅰ (対象別公衆衛生看護活動論)	2		2				15
		公衆衛生看護援助論Ⅱ (公衆衛生看護技術論)		2			2		15
		公衆衛生看護援助論Ⅲ (公衆衛生看護展開論)		3				3	15/30
		保健指導演習	1			1			30
		地域保健活動演習	1			1			30
		公衆衛生看護学実習		4				4	45
		養護概論		2			2		15
	学校健康相談		2			2		15	
	実践 統合	国際看護論		1			1		15
		災害看護援助論	1					1	15
		看護の統合実習	2					2	45
養護教諭 教職課程 (一種免許状)	教育の 基礎的 理解に 関する 科目	教育原理	1			1			15
		教職論※1	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		特別支援教育の基礎	1				1		15
		教育課程論	1			1			15
	道徳、 総合的な 学習の 時間等 の 内容及び 生徒指導 、 教育相談 等 に関する 科目	道徳教育/総合的な学習の時間の 指導法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1				1		15
		学校教育相談	2				2		15
	教育 実践に 関する 科目	養護実習 事前事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習(養護教諭)	2					2	15
	養護 に 関する 科目	疫学・保健統計学	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		公衆衛生学	2			2			15
		公衆衛生看護援助論Ⅰ (対象別公衆衛生看護活動論)	2		2				15
		小児看護援助論Ⅰ(健康生活援助論)	2			2			15
養護概論		2				2		15	
学校健康相談		2				2		15	
栄養学総論(基礎栄養学)	2			2			15		

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護に関する科目	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		臨床薬理学（薬理学）	2		2				15
		精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1			1			30
		看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助実習Ⅰ（生活援助実習）	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ（看護過程実習）	2			2			45
		看護の統合実習	2					2	45
		小児看護援助論Ⅱ（臨床看護援助論）	1					1	30
		母性・小児看護学実習	5					5	45
		急性期看護援助論	2			2			15
		急性期・慢性期看護学実習	5					5	45
	大学が独自に設定する科目	ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15
	養護教諭教職課程（二種免許状）	スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		日本国憲法	2				2		15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の  
共通開設科目

1-9. 医療保健学部 看護学科 (令和4年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
	比較文化論		1		1			15	
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
	スポーツ実習		1	1	1	1		30	
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
情報科学			2	2				15	
情報通信と保健医療			2		2			15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
医療のコラボレーション教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ <small>(血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)</small>	2		2				15	
		体の仕組みと働きⅡ <small>(骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)</small>	2		2				15	
		公衆衛生学	2			2			15	
		栄養学総論 <small>(基礎栄養学)</small>	2		2				15	
		医療安全管理学 <small>(臨床工学・危機管理学・感染制御学)</small>	2			2			15	
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15	
	発展	医学・医療概論	1		1				15	
		臨床薬理学 <small>(薬理学)</small>	2		2				15	
		医療マネジメント論		2			2		15	
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15	
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15	
	実践	協働実践演習	1					1	30	
		ボランティア論	1		1				15	
		ボランティア活動		1	1				30	
	専門職の教育分野	専門支持	病原微生物学	2		2				15
			病態生理学	2		2				15
			治療学総論	1		1				15
			疾病治療論Ⅰ <small>(呼吸・循環・腎泌尿器系)</small>	2			2			15
疾病治療論Ⅱ <small>(骨格・筋・神経・内分泌系)</small>			2			2			15	
疾病治療論Ⅲ <small>(感覚・免疫・消化器系)</small>			2			2			15	
生活健康科学				2	2				15	
社会福祉論			2			2			15	
保健医療福祉行政学			2			2			15	
疫学・保健統計論			2			2			15	
解剖生理学演習				1			1		30	
リラクゼーション論				1			1		15	
医用機器概論				1			1		15	
代替医療論				1			1		15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職 の教育分野	専門 基幹	看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助方法Ⅰ <small>(身体と生活機能の観察と援助技術の基本-バイタルサインの測定と日常生活の援助①)</small>	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ <small>(身体と生活機能の観察と援助技術の基本-フィジカルアセスメントと日常生活の援助②)</small>	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ <small>(治療・診療を受ける対象への援助)</small>	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ <small>(健康が障害された対象への援助とチーム活動-基礎)</small>	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ <small>(健康が障害された対象への援助とチーム活動-発展)</small>	1				1		30
		クリティカル・シンキングⅠ <small>(論理的アプローチの基礎)</small>	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ <small>(看護における論理的アプローチ)</small>	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ <small>(批判的思考の展開)</small>	1				1		15
		チーム活動論	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (生活援助実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護過程実習)	2			2			45
		機能看護学Ⅰ (セルフマネジメント)	2		2				15
		機能看護学Ⅱ (キャリアマネジメント)	1			1			15
		機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント)	1				1		30
		機能看護学Ⅳ (トップマネジメント)		1				1	15
	専門 展開	母性看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期看護援助論	2			2			15
		終末期看護援助論	2				2		15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
		老年看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		在宅看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅱ <small>(療養生活援助論)</small>	1				1		30
老年・在宅看護学実習	5				5		45		

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
専門職の 教育分野	専門 展開	精神看護援助論Ⅰ(精神保健)	2			2			15	
		精神看護援助論Ⅱ(精神看護)	1			1			30	
		精神看護学実習	3				3		45	
		公衆衛生看護援助論Ⅰ (対象別公衆衛生看護活動論)	2		2				15	
		公衆衛生看護援助論Ⅱ (公衆衛生看護活動展開論)		2			2		15	
		公衆衛生看護援助論Ⅲ (公衆衛生看護管理論)		3			1		15	
		保健指導演習	1			1			30	
		地域保健活動演習	1			1			30	
		公衆衛生看護学演習Ⅰ (健康危機管理演習)		1		1			30	
		公衆衛生看護学演習Ⅱ (家庭訪問演習)		1			1		30	
		公衆衛生看護学演習Ⅲ (地域組織活動演習)		1			1		30	
		公衆衛生看護学演習Ⅳ (公衆衛生看護展開演習)		2				2	30	
		公衆衛生看護学実習		4				4	45	
		養護概論		2				2	15	
	学校健康相談		2				2	15		
	実践 統合	国際看護論		1			1		15	
		災害看護援助論	1					1	15	
		看護の統合実習	2					2	45	
		看護研究		1				1	15	
	養護教諭 教職課程 (一種免許状)	教育の 基礎的 理解に 関する 科目	教育原理	1			1			15
教職論※1			2			2			15	
教育制度論			1			1			15	
教育心理学			2			2			15	
特別支援教育の基礎			1				1		15	
教育課程論			1			1			15	
道徳、総合的な学習の時間等の 内容及び生徒指導、教育相談等 に関する 科目		道徳教育/総合的な学習の時間の 指導法	1				1		15	
		特別活動の指導法	1				1		15	
		教育方法論	1			1			15	
		生徒指導論	1				1		15	
		学校教育相談	2				2		15	
		教育 実践に 関する 科目	養護実習 事前事後指導	1					1	15
			養護実習	4					4	45
			教職実践演習(養護教諭)	2					2	15
		養護に 関する 科目	疫学・保健統計学	2			2			15
保健医療福祉行政学	2				2			15		



分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（一種免許状）	養護に関する科目	公衆衛生学	2			2			15
		公衆衛生看護援助論Ⅰ <small>（対象別公衆衛生看護活動論）</small>	2		2				15
		小児看護援助論Ⅰ <small>（健康生活援助論）</small>	2			2			15
		養護概論	2				2		15
		学校健康相談	2				2		15
		栄養学総論（基礎栄養学）	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ <small>（血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系）</small>	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ <small>（骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系）</small>	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		臨床薬理学（薬理学）	2		2				15
		精神看護援助論Ⅰ <small>（精神保健）</small>	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ <small>（精神看護）</small>	1			1			30
		看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助実習Ⅰ <small>（生活援助実習）</small>	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ <small>（看護過程実習）</small>	2			2			45
		看護の統合実習	2					2	45
		小児看護援助論Ⅱ <small>（臨床看護援助論）</small>	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5					5	45
		急性期看護援助論	2			2			15
	急性期・慢性期看護学実習	5					5	45	
	大学が独自に設定する科目	ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ	2		2				15
英会話Ⅱ		2		2				15	
情報リテラシー		2		2				15	
許状）課程（一種免許状）	養護教諭教職	スポーツ科学	1		1	1	1	15	
	スポーツ実習	1		1	1	1		30	
	日本国憲法	2				2		15	

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の  
共通開設科目

1-10. 医療保健学部 看護学科 (令和5年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
	比較文化論		1		1			15	
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
	スポーツ実習		1	1	1	1		30	
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
情報科学			2	2				15	
情報通信と保健医療			2		2			15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ <small>(血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)</small>	2		2				15	
		体の仕組みと働きⅡ <small>(骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)</small>	2		2				15	
		公衆衛生学	2			2			15	
		栄養学総論 <small>(基礎栄養学)</small>	2		2				15	
		医療安全管理学 <small>(臨床工学・危機管理学・感染制御学)</small>	2			2			15	
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15	
	発展	医学・医療概論	1		1				15	
		臨床薬理学 <small>(薬理学)</small>	2		2				15	
		医療マネジメント論		2			2		15	
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15	
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15	
	実践	協働実践演習	1					1	30	
		ボランティア論	1		1				15	
		ボランティア活動		1	1				30	
	専門職の 教育分野	専門 支持	病原微生物学	2		2				15
			病態生理学	2		2				15
			治療学総論	1		1				15
			疾病治療論Ⅰ <small>(呼吸・循環・腎泌尿器系)</small>	2			2			15
疾病治療論Ⅱ <small>(骨格・筋・神経・内分泌系)</small>			2			2			15	
疾病治療論Ⅲ <small>(感覚・免疫・消化器系)</small>			2			2			15	
生活健康科学				2	2				15	
社会福祉論			2			2			15	
保健医療福祉行政学			2			2			15	
疫学・保健統計論			2			2			15	
解剖生理学演習				1			1		30	
リラクゼーション論				1			1		15	
医用機器概論				1			1		15	
代替医療論				1			1		15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	専門基幹	看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助方法Ⅰ <small>(身体と生活機能の観察と援助技術の基本-バイタルサインの測定と日常生活の援助①)</small>	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ <small>(身体と生活機能の観察と援助技術の基本-フィジカルアセスメントと日常生活の援助②)</small>	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ <small>(治療・診療を受ける対象への援助)</small>	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ <small>(健康が障害された対象への援助とチーム活動-基礎)</small>	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ <small>(健康が障害された対象への援助とチーム活動-発展)</small>	1				1		30
		クリティカル・シンキングⅠ <small>(論理的アプローチの基礎)</small>	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ <small>(看護における論理的アプローチ)</small>	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ <small>(批判的思考の展開)</small>	1				1		15
		チーム活動論	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (生活援助実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護過程実習)	2			2			45
		機能看護学Ⅰ (セルフマネジメント)	2		2				15
		機能看護学Ⅱ (キャリアマネジメント)	1			1			15
	機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント)	1				1		30	
	機能看護学Ⅳ (トップマネジメント)		1				1	15	
	専門展開	母性看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5				5		45
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期看護援助論	2			2			15
		終末期看護援助論	2				2		15
		急性期・慢性期看護学実習	5				5		45
		老年看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ <small>(臨床看護援助論)</small>	1				1		30
		在宅看護援助論Ⅰ <small>(健康生活援助論)</small>	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅱ <small>(療養生活援助論)</small>	1				1		30
老年・在宅看護学実習		5				5		45	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	専門 展開	精神看護援助論Ⅰ(精神保健)	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ(精神看護)	1			1			30
		精神看護学実習	3				3		45
		公衆衛生看護援助論Ⅰ (対象別公衆衛生看護活動論)	2		2				15
		公衆衛生看護援助論Ⅱ (公衆衛生看護活動展開論)		2			2		15
		公衆衛生看護援助論Ⅲ (公衆衛生看護管理論)		3			1		15
		保健指導演習	1			1			30
		地域保健活動演習	1			1			30
		公衆衛生看護学演習Ⅰ (健康危機管理演習)		1		1			30
		公衆衛生看護学演習Ⅱ (家庭訪問演習)		1			1		30
		公衆衛生看護学演習Ⅲ (地域組織活動演習)		1			1		30
		公衆衛生看護学演習Ⅳ (公衆衛生看護展開演習)		2				2	30
		公衆衛生看護学実習		4				4	45
		養護概論		2				2	15
	学校健康相談		2				2	15	
	実践 統合	国際看護論		1	1	1	1		15
		災害看護援助論	1					1	15
		看護の統合実習	2					2	45
		看護研究		1				1	15
	養護教諭 教職課程 (一種免許状)	教育の 基礎的 理解に 関する 科目	教育原理	1			1		
教職論※1			2			2			15
教育制度論			1			1			15
教育心理学			2			2			15
特別支援教育の基礎			1				1		15
教育課程論			1			1			15
道徳、総合的な学習の時間等の 内容及び生徒指導、教育相談等 に関する 科目		道徳教育/総合的な学習の時間の 指導法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1				1		15
		学校教育相談	2				2		15
教育 実践に 関する 科目		養護実習 事前事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習(養護教諭)	2					2	15
養護に 関する 科目		疫学・保健統計学	2			2			15
	保健医療福祉行政学	2			2			15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（一種免許状）	養護に関する科目	公衆衛生学	2			2			15
		公衆衛生看護援助論Ⅰ <small>（対象別公衆衛生看護活動論）</small>	2		2				15
		小児看護援助論Ⅰ <small>（健康生活援助論）</small>	2			2			15
		養護概論	2				2		15
		学校健康相談	2				2		15
		栄養学総論（基礎栄養学）	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ <small>（血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系）</small>	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ <small>（骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系）</small>	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		臨床薬理学（薬理学）	2		2				15
		精神看護援助論Ⅰ <small>（精神保健）</small>	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ <small>（精神看護）</small>	1			1			30
		看護学概論	3		3				15/30
		生涯発達ケア論	2			2			15
		基礎看護援助実習Ⅰ <small>（生活援助実習）</small>	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ <small>（看護過程実習）</small>	2			2			45
		看護の統合実習	2					2	45
		小児看護援助論Ⅱ <small>（臨床看護援助論）</small>	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5					5	45
		急性期看護援助論	2			2			15
	急性期・慢性期看護学実習	5					5	45	
	大学が独自に設定する科目	ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
	第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ	2		2				15
英会話Ⅱ		2		2				15	
情報リテラシー		2		2				15	
許状） 課程（二種免許状）	養護教諭教職	スポーツ科学	1		1	1	1	15	
	スポーツ実習	1		1	1	1		30	
	日本国憲法	2				2		15	

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の  
共通開設科目

- 2-1. 医療保健学部 医療栄養学科 (平成 18 年度及び平成 19 年度入学生限り適用) ~  
 2-7. 医療保健学部 医療栄養学科 (平成 27 年度入学生限り適用) <削除>  
 2-8. 医療保健学部 医療栄養学科 (平成 28 年度入学生及び平成 29 年度入学生に限り適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教	2		2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
	比較文化論		1		1			15	
	自然科学	生物 I		1	1				15
		生物 II	1		1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学 I		1	1				15
		化学 II	1		1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
	スポーツ実習		1	1	1	1		30	
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話 I	2		2				15
		英会話 II	2		2				15
		英会話 III		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
	中国語		2	2				15	
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学		2	2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
医療の コロナ ボレー ション 教育 分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15	
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15	
		公衆衛生学	2			2			15	
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15	
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15	
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15	
	発展	医学・医療概論	1		1				15	
		臨床薬理学 (薬理学)	2				2		15	
		医療マネジメント論	2				2		15	
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15	
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15	
	実践	協働実践演習	1					1	30	
		ボランティア論	1		1				15	
		ボランティア活動		1	1				30	
	専門職の 教育 分野	専門 基礎	健康管理概論	2		2				15
			社会福祉総論	2		2				15
			食育論		1	1				15
			食文化論		1	1				15
病理学Ⅰ (病態の系統的理解)			2			2			15	
病理学Ⅱ (病態の評価・診断)			2				2		15	
生化学Ⅰ (生体物質の構造と機能)			2			2			15	
生化学Ⅱ (生体物質の代謝)			2			2			15	
微生物学			2			2			15	
分子病態学			2				2		15	
解剖生理学実習			1			1			45	
生化学実験Ⅰ (生体物質の分析)			1			1			45	
生化学実験Ⅱ (生体物質の発現・代謝分析)			1				1		45	
薬物療法学				1				1	15	
病態生化学				1				1	15	
臨床検査学				2				2	15	
食品学Ⅰ (総論・食品の構成・生理および栄養機能)			2		2				15	
食品学Ⅱ (各論・食品の種類、性状、栄養特性・加工)			2			2			15	
食品衛生学			2			2			15	
食安全学				2				2	15	



分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
専門職 の教育分野	専門基礎	調理学	2		2				15	
		食品化学実験	1		1				45	
		食品学実験	1		1				45	
		食品加工学実習	1				1		45	
		食品衛生学実験	1			1			45	
		調理学実習Ⅰ (基本調理・日本食の理解)	1		1				45	
		調理学実習Ⅱ (応用調理・食文化と献立作成)	1		1				45	
		食品機能学		1				1	15	
		サプリメント論		1					1	15
		調理科学実験	1			1			45	
		食品流通論		2				2	15	
		フードスペシャリスト論		2				2	15	
		フードコーディネーター論		2				2	15	
		食品の官能評価・鑑別論		1		1			15	
	基礎栄養学	基礎栄養学特講	1			1			15	
		栄養生理学実験	1				1		45	
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ (基本的理解・総論)	2			2			15	
		応用栄養学Ⅱ (応用・特殊環境と栄養・実践)	2			2			15	
		運動栄養学	1				1		15	
		アスリート栄養学		1			1		15	
		栄養学演習	1		1				30	
		応用栄養学実習Ⅰ (ライフステージ別食事管理)	1			1			45	
		応用栄養学実習Ⅱ (ライフステージ別栄養管理)	1			1			45	
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ (基礎)	2			2			15	
		栄養教育論Ⅱ (応用・ライフステージ別栄養教育)	2			2			15	
		栄養教育論Ⅲ (応用・要介護者の栄養管理とカウンセリング)	2				2		15	
		栄養教育論実習Ⅰ (基礎・ライフステージ別栄養教育)	1			1			45	
		栄養教育論実習Ⅱ (応用・症例に基づく栄養教育)	1				1		45	
		カウンセリング論		1					1	15
		臨床栄養学	医療栄養学概論	2				2		15
	臨床栄養学Ⅰ (臨床症候と栄養障害の評価)		2			2			15	
	臨床栄養学Ⅱ (疾患別・病態別栄養管理)		2				2		15	
	臨床栄養学Ⅲ (チーム医療における栄養管理)		2				2		15	
臨床栄養学実習Ⅰ (基礎)	1					1		45		
臨床栄養学実習Ⅱ (応用と実践)	1					1		45		
臨床栄養実践演習			1					1	30	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ (地域栄養の現状と課題・公衆栄養マネジメント)	2				2		15
		公衆栄養学Ⅱ (国内外の健康・栄養施策・栄養疫学)	2				2		15
		公衆栄養学実習	1				1		45
		地域栄養学実習		1			1		45
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ (基礎)	2			2			15
		給食経営管理論Ⅱ (応用・実践・施設別給食管理)	2			2			15
		給食経営管理論実習	1			1			45
	総合演習	総合演習Ⅰ (基礎)	1					1	30
		総合演習Ⅱ (応用・総合)	1					1	30
	臨地実習	臨地実習Ⅰ (給食経営管理)	1	選択 必修			1		45
		臨地実習Ⅱ (公衆栄養学)	1				1		45
		臨地実習Ⅲ (給食の運営・臨床栄養学・給食経営管理)	3					3	45
		総合学習Ⅰ (食べ物・栄養と健康)	1		1				15
		総合学習Ⅱ (食べ物・栄養と疾病・治療)	1			1			15
		卒業研究		4				4	30

※選択必修：「臨地実習Ⅰ（給食経営管理）」及び「臨地実習Ⅱ（公衆栄養学）」については、どちらか一方を必ず選択し、単位を取得しなければならない。

2-9. 医療保健学部 医療栄養学科 (平成30年度入学生限り適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教	2		2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		比較文化論		1		1			15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ	1		1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ	1		1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
	スポーツ実習		1	1	1	1		30	
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学		2	2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
医療の コロナ シオン 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ <small>(血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)</small>	2		2				15	
		体の仕組みと働きⅡ <small>(骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)</small>	2		2				15	
		公衆衛生学	2			2			15	
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15	
		医療安全管理学 <small>(臨床工学・危機管理学・感染制御学)</small>	2			2			15	
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15	
	発展	医学・医療概論	1		1				15	
		臨床薬理学 (薬理学)	2				2		15	
		医療マネジメント論	2				2		15	
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15	
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15	
	実践	協働実践演習	1					1	30	
		ボランティア論	1		1				15	
		ボランティア活動		1	1				30	
	専門職の 教育分野	専門基礎	健康管理概論	2		2				15
			社会福祉総論	2		2				15
			食育論		1	1				15
			食文化論		1	1				15
病理学Ⅰ (病態の系統的理解)			2			2			15	
病理学Ⅱ (病態の評価・診断)			2				2		15	
生化学Ⅰ (生体物質の構造と機能)			2			2			15	
生化学Ⅱ (生体物質の代謝)			2			2			15	
微生物学			2			2			15	
分子病態学			2				2		15	
解剖生理学実習			1			1			45	
生化学実験Ⅰ (生体物質の分析)			1			1			45	
生化学実験Ⅱ (生体物質の発現・代謝分析)			1				1		45	
薬物療法学				1				1	15	
病態生化学				1				1	15	
臨床検査学				2				2	15	
食品学Ⅰ <small>(総論・食品の構成・生理および栄養機能)</small>			2		2				15	
食品学Ⅱ <small>(各論・食品の種類、性状、栄養特性・加工)</small>			2			2			15	
食品衛生学			2			2			15	
食安全学				2				2	15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
専門職の教育分野	専門基礎	調理学	2		2				15	
		食品化学実験	1		1				45	
		食品学実験	1		1				45	
		食品加工学実習	1				1		45	
		食品衛生学実験	1			1			45	
		調理学実習Ⅰ (基本調理・日本食の理解)	1		1				45	
		調理学実習Ⅱ (応用調理・食文化と献立作成)	1		1				45	
		食品機能学		1				1		15
		サプリメント論		1					1	15
		調理科学実験	1				1			45
		食品流通論		2				2		15
		フードスペシャリスト論		2				2		15
		フードコーディネーター論		2				2		15
		食品の官能評価・鑑別論		1			1			15
	栄養学基礎	基礎栄養学特講	1			1			15	
		栄養生理学実験	1				1		45	
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ (基本的理解・総論)	2				2		15	
		応用栄養学Ⅱ (応用・特殊環境と栄養・実践)	2				2		15	
		運動栄養学	1					1	15	
		アスリート栄養学		1				1	15	
		栄養学演習	1		1				30	
		応用栄養学実習Ⅰ (ライフステージ別食事管理)	1				1		45	
		応用栄養学実習Ⅱ (ライフステージ別栄養管理)	1				1		45	
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ (基礎)	2				2		15	
		栄養教育論Ⅱ (応用・ライフステージ別栄養教育)	2				2		15	
		栄養教育論Ⅲ (応用・要介護者の栄養管理とカウンセリング)	2					2	15	
		栄養教育論実習Ⅰ (基礎・ライフステージ別栄養教育)	1				1		45	
		栄養教育論実習Ⅱ (応用・症例に基づく栄養教育)	1					1	45	
		カウンセリング論		1					1	15
	臨床栄養学	医療栄養学概論	2					2	15	
		臨床栄養学Ⅰ (臨床症候と栄養障害の評価)	2				2		15	
		臨床栄養学Ⅱ (疾患別・病態別栄養管理)	2					2	15	
		臨床栄養学Ⅲ (チーム医療における栄養管理)	2					2	15	
		臨床栄養学実習Ⅰ (基礎)	1					1	45	
		臨床栄養学実習Ⅱ (応用と実践)	1					1	45	
		臨床栄養実践演習		1					1	30

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ (地域栄養の現状と課題・公衆栄養マネジメント)	2				2		15
		公衆栄養学Ⅱ (国内外の健康・栄養施策・栄養疫学)	2				2		15
		公衆栄養学実習	1				1		45
		地域栄養学実習		1			1		45
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ(基礎)	2			2			15
		給食経営管理論Ⅱ (応用・実践・施設別給食管理)	2			2			15
		給食経営管理論実習	1			1			45
	総合演習	総合演習Ⅰ(基礎)	1					1	30
		総合演習Ⅱ(応用・総合)	1					1	30
	臨地実習	臨地実習Ⅰ(給食経営管理)	1	選択 必修			1		45
		臨地実習Ⅱ(公衆栄養学)	1				1		45
		臨地実習Ⅲ (給食の運営・臨床栄養学・給食経営管理)	3					3	45
		総合学習Ⅰ (食べ物・栄養と健康)	1		1				15
		総合学習Ⅱ (食べ物・栄養と疾病・治療)	1			1			15
		卒業研究		4				4	30

※選択必修：「臨地実習Ⅰ(給食経営管理)」及び「臨地実習Ⅱ(公衆栄養学)」については、どちらか一方を必ず選択し、単位を取得しなければならない。

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
栄養教諭 教職課程 (一種免許状)	教職に関する科目	教職への道※1	2			2			15	
		教育原理	1			1			15	
		教育心理学	2			2			15	
		教育制度論	1			1			15	
		教育課程論	1			1			15	
		道徳教育の理論と方法	1				1		15	
		特別活動の指導法	1				1		15	
		教育方法論	1			1			15	
		生徒指導論	2				2		15	
		学校教育相談	2				2		15	
		栄養教育実習 事前事後指導	1						1	15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
栄養教諭教職課程 (一種免許状)	教職に関する 科目	栄養教育実習	1					1	45
		教職実践演習 (栄養教諭)	2					2	15
	栄養に係る教育 に関する科目	学校栄養教育論	2				2		15
		学校栄養教育実践演習	2				2		15
	第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の  
共通開設科目

2-10. 医療保健学部 医療栄養学科 (平成31年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教	2		2				15
		文学		1		1			15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2	2				15
		社会学		2	2				15
		法学		2	2				15
		歴史		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1		1			15
		家族社会学		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		比較文化論		1		1			15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ	1		1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ	1		1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
	スポーツ実習		1	1	1	1		30	
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
情報科学			2	2				15	
情報通信と保健医療			2		2			15	



分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
医療の コロナ シオン 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ <small>(血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)</small>	2		2				15	
		体の仕組みと働きⅡ <small>(骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)</small>	2		2				15	
		公衆衛生学	2			2			15	
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15	
		医療安全管理学 <small>(臨床工学・危機管理学・感染制御学)</small>	2			2			15	
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15	
	発展	医学・医療概論	1		1				15	
		臨床薬理学 (薬理学)	2				2		15	
		医療マネジメント論	2				2		15	
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15	
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15	
	実践	協働実践演習	1					1	30	
		ボランティア論	1		1				15	
		ボランティア活動		1	1				30	
	専門職の 教育分野	専門基礎	健康管理概論	2		2				15
			社会福祉総論	2		2				15
			食育論		1	1				15
			食文化論		1	1				15
病理学Ⅰ (病態の系統的理解)			2			2			15	
病理学Ⅱ (病態の評価・診断)			2				2		15	
生化学Ⅰ (生体物質の構造と機能)			2			2			15	
生化学Ⅱ (生体物質の代謝)			2			2			15	
微生物学			2			2			15	
分子病態学			2				2		15	
解剖生理学実習			1			1			45	
生化学実験Ⅰ (生体物質の分析)			1			1			45	
生化学実験Ⅱ (生体物質の発現・代謝分析)			1				1		45	
薬物療法学				1				1	15	
病態生化学				1				1	15	
臨床検査学				2				2	15	
食品学Ⅰ <small>(総論・食品の構成・生理および栄養機能)</small>			2		2				15	
食品学Ⅱ <small>(各論・食品の種類、性状、栄養特性・加工)</small>			2			2			15	
食品衛生学			2			2			15	
食安全学				2				2	15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
専門職の教育分野	専門基礎	調理学	2		2				15	
		食品化学実験	1		1				45	
		食品学実験	1		1				45	
		食品加工学実習	1				1		45	
		食品衛生学実験	1			1			45	
		調理学実習Ⅰ (基本調理・日本食の理解)	1		1				45	
		調理学実習Ⅱ (応用調理・食文化と献立作成)	1		1				45	
		食品機能学		1				1	15	
		サプリメント論		1					1	15
		調理科学実験	1				1			45
		食品流通論		2				2		15
		フードスペシャリスト論		2				2		15
		フードコーディネーター論		2				2		15
		食品の官能評価・鑑別論		1			1			15
	栄養学基礎	基礎栄養学特講	1			1			15	
		栄養生理学実験	1				1		45	
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ (基本的理解・総論)	2				2		15	
		応用栄養学Ⅱ (応用・特殊環境と栄養・実践)	2				2		15	
		運動栄養学	1					1	15	
		アスリート栄養学		1				1	15	
		栄養学演習	1		1				30	
		応用栄養学実習Ⅰ (ライフステージ別食事管理)	1				1		45	
		応用栄養学実習Ⅱ (ライフステージ別栄養管理)	1				1		45	
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ (基礎)	2				2		15	
		栄養教育論Ⅱ (応用・ライフステージ別栄養教育)	2				2		15	
		栄養教育論Ⅲ (応用・要介護者の栄養管理とカウンセリング)	2					2	15	
		栄養教育論実習Ⅰ (基礎・ライフステージ別栄養教育)	1				1		45	
		栄養教育論実習Ⅱ (応用・症例に基づく栄養教育)	1					1	45	
		カウンセリング論		1					1	15
		臨床栄養学	医療栄養学概論	2					2	15
	臨床栄養学Ⅰ (臨床症候と栄養障害の評価)		2				2		15	
	臨床栄養学Ⅱ (疾患別・病態別栄養管理)		2					2	15	
	臨床栄養学Ⅲ (チーム医療における栄養管理)		2					2	15	
	臨床栄養学実習Ⅰ (基礎)		1					1	45	
	臨床栄養学実習Ⅱ (応用と実践)		1					1	45	
	臨床栄養実践演習			1					1	30

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ (地域栄養の現状と課題・公衆栄養マネジメント)	2				2		15
		公衆栄養学Ⅱ (国内外の健康・栄養施策・栄養疫学)	2				2		15
		公衆栄養学実習	1				1		45
		地域栄養学実習		1			1		45
	給食経営管理論	給食経営管理論Ⅰ(基礎)	2			2			15
		給食経営管理論Ⅱ (応用・実践・施設別給食管理)	2			2			15
		給食経営管理論実習	1			1			45
	総合演習	総合演習Ⅰ(基礎)	1					1	30
		総合演習Ⅱ(応用・総合)	1					1	30
	臨地実習	臨地実習Ⅰ(給食経営管理)	1	選択 必修			1		45
		臨地実習Ⅱ(公衆栄養学)	1			1		45	
		臨地実習Ⅲ (給食の運営・臨床栄養学・給食経営管理)	3				3	45	
		総合学習Ⅰ (食べ物・栄養と健康)	1		1				15
		総合学習Ⅱ (食べ物・栄養と疾病・治療)	1			1			15
		卒業研究		4				4	30

※選択必修：「臨地実習Ⅰ(給食経営管理)」及び「臨地実習Ⅱ(公衆栄養学)」については、どちらか一方を必ず選択し、単位を取得しなければならない。

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
栄養教諭教職課程 (二種免許状)	教育の基礎的理解に 関する科目	教育原理	1			1			15
		教職論※1	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		特別支援教育の基礎	1				1		15
		教育課程論	1			1			15
	道徳、総合的な学習の時間等の 内容及び生徒指導、教育相談等に 関する科目	道徳教育/総合的な学習の時間 の指導法	1				1		15
		特別活動の指導法	1				1		15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1				1		15
		学校教育相談	2				2		15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
栄養教諭教職課程 (一種免許状)	教育実践に関する 科目	栄養教育実習事前事後指導	1					1	15
		栄養教育実習	1					1	45
		教職実践演習(栄養教諭)	2					2	15
	栄養に係る教育 に関する科目	学校栄養教育論	2				2		15
		学校栄養教育実践演習	2				2		15
	教育職員免許法施行規則 第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1	1	1		15
		スポーツ実習	1		1	1	1		30
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の  
共通開設科目

3-1. 医療保健学部 医療情報学科 (平成 18 年度入学生限り適用) ~

3-10. 医療保健学部 医療情報学科 (平成 27 年度入学生限り適用) <削除>

3-11. 医療保健学部 医療情報学科 (平成 28 年度入学生から平成 31 年度入学生まで適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1				1	15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2			2		15
		経済学		2			2		15
		社会学		2			2		15
		法学		2			2		15
		歴史		2				2	15
		国際関係論		1				1	15
		認知科学		1				1	15
		人間関係論		1				1	15
		家族社会学		1				1	15
		ジェンダー論		1				1	15
	比較文化論		1				1	15	
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2			2			15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
	スポーツ実習		1	1	1	1		30	
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2		2			15
		フランス語		2	2				15
	中国語		2	2				15	
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学	2		2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学 (薬理学)	2				2		15
		医療マネジメント論	2				2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論	1		1				15
		ボランティア活動		1	1				30
	専門職の 教育分野	情報 技術 系	コンピュータシステムⅠ (ハードウェア)	2		2			
コンピュータシステムⅡ (ソフトウェア)			2		2				15
IT入門Ⅰ (ストラテジおよびマネジメント)			1		1				30
IT入門Ⅱ (テクノロジー)			1		1				30
情報ワークショップⅠ (ハードウェア)			1		1				45
情報ワークショップⅡ (ソフトウェア)			1		1				45
通信ネットワーク			2		2				15
情報数学				2	2				15
プログラミング演習Ⅰ (C#初級)			2		2				30
プログラミング演習Ⅱ (C#中級)			2			2			30
プログラミング演習Ⅲ (C#上級)			2			2			30
データ構造とアルゴリズム			1			1			30
情報基礎実験Ⅰ (情報システム基盤)			1			1			45
情報基礎実験Ⅱ (サーバ構築)			1			1			45
データベース演習Ⅰ (RDB)			1			1			30
データベース演習Ⅱ (SQL)			2			2			30
情報応用演習Ⅰ			択一	2			2		30
情報応用演習Ⅱ			選択	2			2		30

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	情報技術系	情報セキュリティ	2				2		15
		情報システム開発論Ⅰ		2			2		15
		情報システム開発論Ⅱ		2			2		15
		情報処理技術Ⅰ (基盤的情報処理技術)		1			1		30
		情報処理技術Ⅱ (実践的アルゴリズム)		1			1		30
		情報システム運用管理論		2			2		15
		医用画像処理工学		2			2		15
		マルチメディア工学		2			2		15
	医学医療系	臨床医学総論	1		1				15
		臨床医学各論Ⅰ (感染症および寄生虫)	1		1				15
		臨床医学各論Ⅱ (新生物)	1		1				15
		臨床医学各論Ⅲ (血液・代謝・内分泌等)	1		1				15
		臨床医学各論Ⅳ (脳神経・感覚器等)	1		1				15
		臨床医学各論Ⅴ (循環器・呼吸器系)	1			1			15
		臨床医学各論Ⅵ (消化器・泌尿器系)	1			1			15
		臨床医学各論Ⅶ (周産期系)	1			1			15
		臨床医学各論Ⅷ (筋骨格系)	1			1			15
		医学用語	1			1			15
		応用臨床医学Ⅰ		1		1			30
		応用臨床医学Ⅱ		1			1		30
		応用臨床医学Ⅲ		1			1		30
		診療情報論演習Ⅰ (診療録の臨床的理解)	1			1			30
		診療情報論演習Ⅱ (病院情報システム)	1			1			30
		医療管理総論 (病院管理)	1			1			15
		医療管理各論 (医療制度と医療評価)	2			2			15
		診療情報管理論	2			2			15
		医療管理演習 (診療報酬制度)	1			1			30

※「情報応用演習Ⅰ・情報応用演習Ⅱ」及び「応用国際疾病分類法Ⅰ・応用国際疾病分類法Ⅱ」については、どちらか一方を必ず選択し、単位を取得しなければならない。

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	医学 医療系	国際疾病分類法演習Ⅰ		1		1			30
		国際疾病分類法演習Ⅱ		2		2			30
		応用国際疾病分類法Ⅰ	択一 選択	2			2		30
		応用国際疾病分類法Ⅱ		2			2		30
		応用医療管理学		1			1		30
		社会福祉総論	2			2			15
		看護概論	1				1		15
		診療プロセス論Ⅰ (診断支援)	2				2		15
		診療プロセス論Ⅱ (治療支援)	2				2		15
		診療プロセス論Ⅲ (総合支援)	2					2	15
		医療関係法規	2					2	15
		統合系	生体情報演習Ⅰ	2		2			
	生体情報演習Ⅱ			2		2			30
	医療情報学		1		1				30
	医療情報システム論Ⅰ		1			1			30
	医療情報システム論Ⅱ		1			1			30
	臨床データ分析Ⅰ (臨床研究支援)		1			1			30
	臨床データ分析Ⅱ (疫学研究支援)			1			1		30
	意思決定論			2			2		15
	応用医療情報技術			1			1		30
	医療情報総合演習Ⅰ (文書読解・作文技術)		1		1				30
	医療情報総合演習Ⅱ (医療産業)		1		1				30
	医療情報総合演習Ⅲ (医療情報基礎用語)		1			1			30
	医療情報総合演習Ⅳ (卒業試験)		2					2	30
	医療情報ゼミⅠ (医療情報入門)		2				2		30
	医療情報ゼミⅡ (医療情報応用)		2				2		30
	病院実習			2			2		45
	インターンシップ		2				2		45
	卒業研究			8				8	30



3-1-2. 医療保健学部 医療情報学科（令和2年度入学生から令和4年度入学生まで適用）

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1				1	15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2			2		15
		経済学		2			2		15
		社会学		2			2		15
		法学		2			2		15
		歴史		2				2	15
		国際関係論		1				1	15
		認知科学		1				1	15
		人間関係論		1				1	15
		家族社会学		1				1	15
		ジェンダー論		1				1	15
	比較文化論		1				1	15	
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2			2			15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2		2			15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
		情報科学	2		2				15
		情報通信と保健医療		2		2			15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
医療の コラボレ ーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ (血液、循環器、消化器、呼吸器、泌尿器系)	2		2				15	
		体の仕組みと働きⅡ (骨格、筋、神経、内分泌、感覚器系)	2		2				15	
		公衆衛生学	2			2			15	
		栄養学総論 (基礎栄養学)	2		2				15	
		医療安全管理学 (臨床工学・危機管理学・感染制御学)	2			2			15	
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15	
	発展	医学・医療概論	1		1				15	
		臨床薬理学 (薬理学)	2				2		15	
		医療マネジメント論	2				2		15	
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15	
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15	
	実践	協働実践演習	1					1	30	
		ボランティア論	1		1				15	
		ボランティア活動		1	1				30	
	専門職の 教育分野	情報 技術系	コンピュータシステムⅠ (ハードウェア)	2		2				15
			コンピュータシステムⅡ (ソフトウェア)	2		2				15
			IT入門Ⅰ (ストラテジおよびマネジメント)	1		1				30
			IT入門Ⅱ (テクノロジー)	1		1				30
情報ワークショップⅠ (ハードウェア)			1		1				45	
情報ワークショップⅡ (ソフトウェア)			1		1				45	
通信ネットワーク			2		2				15	
情報数学				2	2				15	
プログラミング演習Ⅰ (C#初級)			2		2				30	
プログラミング演習Ⅱ (C#中級)			2			2			30	
プログラミング演習Ⅲ (C#上級)			2			2			30	
データ構造とアルゴリズム			1			1			30	
情報基礎実験Ⅰ (情報システム基盤)			1			1			45	
情報基礎実験Ⅱ (サーバ構築)			1			1			45	
データベース演習Ⅰ (RDB)			1			1			30	
データベース演習Ⅱ (SQL)			2			2			30	
情報応用演習Ⅰ				択一			2			30
情報応用演習Ⅱ				選択	2			2		30

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	情報技術系	情報セキュリティ	2				2		15
		情報システム開発論Ⅰ		2			2		15
		情報システム開発論Ⅱ		2			2		15
		情報処理技術Ⅰ (基盤的情報処理技術)		1			1		30
		情報処理技術Ⅱ (実践的アルゴリズム)		1			1		30
		情報システム運用管理論		2			2		15
		医用画像処理工学		2			2		15
		マルチメディア工学		2			2		15
	医学医療系	臨床医学総論	1		1				15
		臨床医学各論Ⅰ (感染症および寄生虫症)	1		1				15
		臨床医学各論Ⅱ (新生物)	1		1				15
		臨床医学各論Ⅲ (血液・代謝・内分泌等)	1		1				15
		臨床医学各論Ⅳ (脳神経・感覚器等)	1		1				15
		臨床医学各論Ⅴ (循環器・呼吸器系)	1			1			15
		臨床医学各論Ⅵ (消化器・泌尿器系)	1			1			15
		臨床医学各論Ⅶ (周産期系)	1			1			15
		臨床医学各論Ⅷ (筋骨格系)	1			1			15
		医学用語	1			1			15
		応用臨床医学Ⅰ		1		1			30
		応用臨床医学Ⅱ		1			1		30
		応用臨床医学Ⅲ		1			1		30
		診療情報論演習Ⅰ (診療録の臨床的 理解)	1			1			30
		診療情報論演習Ⅱ (病院情報シス テム)	1			1			30
		医療管理総論 (病院管理)	1			1			15
		医療管理各論 (医療制度と医療評価)	2			2			15
		診療情報管理論	2			2			15
		医療管理演習 (診療報酬制度)	1			1			30

※「情報応用演習Ⅰ・情報応用演習Ⅱ」及び「応用国際疾病分類法Ⅰ・応用国際疾病分類法Ⅱ」については、どちらか一方を必ず選択し、単位を取得しなければならない。

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	医学 医療系	国際疾病分類法演習Ⅰ		1		1			30
		国際疾病分類法演習Ⅱ		2		2			30
		応用国際疾病分類法Ⅰ	択一 選択	2			2		30
		応用国際疾病分類法Ⅱ		2			2		30
		応用医療管理学		1			1		30
		社会福祉総論	2			2			15
		看護概論	1				1		15
		診療プロセス論Ⅰ (診断支援)	2				2		15
		診療プロセス論Ⅱ (治療支援)	2				2		15
		診療プロセス論Ⅲ (総合支援)	2					2	15
		医療関係法規	2					2	15
		統合系	生体情報演習Ⅰ	2		2			
	生体情報演習Ⅱ			1		1			30
	医療情報学		1		1				30
	医療情報システム論		2			2			15
	臨床データ分析Ⅰ (臨床研究支援)		1			1			30
	臨床データ分析Ⅱ (疫学研究支援)			1			1		30
	意思決定論			2			2		15
	応用医療情報技術			1			1		30
	医療情報総合演習Ⅰ (文書読解・作文技術)		1		1				30
	医療情報総合演習Ⅱ (医療産業)		1		1				30
	医療情報総合演習Ⅲ (医療情報基礎用語)		1			1			30
	医療情報総合演習Ⅳ (卒業試験)		2					2	30
	医療情報ゼミⅠ (医療情報入門)		2				2		30
	医療情報ゼミⅡ (医療情報応用)		2				2		30
	病院実習			2			2		45
	インターンシップ			2			2		45
	卒業研究			8				8	30

3-1-3. 医療保健学部 医療情報学科 (令和5年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野	いのち・人間	心理学		2	2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文学		1				1	15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
	社会科学	コミュニケーション概論		2			2		15
		経済学		2			2		15
		社会学		2			2		15
		法学		2			2		15
		歴史		2				2	15
		国際関係論		1				1	15
		認知科学		1				1	15
		人間関係論		1				1	15
		家族社会学		1				1	15
		ジェンダー論		1				1	15
		比較文化論		1				1	15
	自然科学	生物Ⅰ		1	1				15
		生物Ⅱ		1	1				15
		データサイエンス	2			2			15
		基礎数学		1	1				15
		物理学		1	1				15
		化学Ⅰ		1	1				15
		化学Ⅱ		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
	スポーツ実習		1	1	1	1		30	
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ	2		2				15
		英会話Ⅱ	2		2				15
		英会話Ⅲ		2		2			15
		専門英語		2		2			15
		フランス語		2	2				15
		中国語		2	2				15
	情報科学	情報リテラシー	2		2				15
情報科学		2		2				15	
情報通信と保健医療			2		2			15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
医療の コラボレーション 教育分野	入門	体の仕組みと働きⅠ	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ	2		2				15
		公衆衛生学		2		2			15
		栄養学総論	2			2			15
		医療安全管理学	2			2			15
		キャリア教育Ⅰ	1		1				15
	発展	医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学		2			2		15
		医療マネジメント論		2			2		15
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ	1				1		15
	実践	協働実践演習	1					1	30
		ボランティア論		1	1				15
		ボランティア活動		1	1				30
	専門職の 教育分野	コンピュータ 科学	コンピュータシステム	2		2			
ワークショップA			2		2				30
ワークショップB				2	2				30
プログラミング演習Ⅰ			2			2			30
プログラミング演習Ⅱ				2		2			30
プログラミング演習Ⅲ				2			2		30
情報基礎演習A			2			2			30
情報基礎演習B				2			2		30
情報応用演習				2			2		30
Webデザイン				2			2		30
マルチメディア工学				2			2		15
通信ネットワーク			2			2			15
情報セキュリティ			2				2		15
情報システム開発論				2			2		15
情報システム運用管理論				2			2		15
情報 科学		情報数学		2	2				15
		基礎数学Ⅱ		2	2				15
		データ構造とアルゴリズム		2		2			15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の教育分野	情報科学	AI 基礎		2			2		15
		データベース基礎	2			2			15
		データベース応用		2		2			30
		臨床データ分析 I	2			2			15
		臨床データ分析 II		2			2		15
		意思決定論		2			2		15
	医療情報	診療情報論 I	2			2			15
		診療情報論 II		2		2			15
		疾病分類演習 I		1		1			30
		疾病分類演習 II		2		2			30
		応用疾病分類演習 I		2			2		30
		応用疾病分類演習 II		2			2		30
		医療情報学概論	2		2				15
		医療情報システム論	2			2			15
		生体情報演習	2		2				30
		ワークショップ C		2		2			30
		ワークショップ D		2		2			30
		医療シミュレーション		1		1			30
		医用画像処理工学		2			2		15
		企業実習		2			2		45
		基礎ゼミ I	1		1				30
		基礎ゼミ II	1		1				30
		応用ゼミ I	1				1		30
		応用ゼミ II	2				2		30
		応用ゼミ III	2					2	30
		卒業研究		4				4	30
	ヘルスケア	看護概論	1				1		15
		社会福祉総論		2			2		15
		臨床医学総論	2		2				15
		臨床医学各論 A		2		2			15
		臨床医学各論 B		2		2			15
		臨床医学各論 C		2			2		15
		臨床医学各論 D		2			2		15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	
専門職の 教育分野	ヘルスケア	診療プロセス論 A	2		2				15
		診療プロセス論 B		2		2			15
		臨床検査概論		2			2		15
		医療関係法規		2			2		15
		医療制度論	1		1				15
		医事会計論		2		2			15
		病院管理概論	2			2			15
		診療情報管理論	2			2			15
		病院実習		2				2	45



別表第2

- 1-1. 東が丘・立川看護学部 看護学科（平成23年度入学生まで適用）＜削除＞  
 1-2. 東が丘・立川看護学部 看護学科（平成24年度及び平成25年度入学生限り適用）

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
基盤分野	人間尊重と人間関係の形成	人間関係論	1		1				15
		心理学	1		1				15
		哲学		1	1				15
		倫理学		1	1				15
		人間と社会生活（現代社会論）		1	1				15
		家族関係論		1	1				15
		人間と法		2	2				15
		性と文化		1	1				15
	健康問題の解決	論理的思考	2		2				15
		自然科学の基礎	1		1				15
		スポーツ科学		2	2				15
	自己啓発能力	統計学	2			2			15
		教育学	2			2			15
	キャリア開発能力	情報リテラシー	1		1				15
		実用英語Ⅰ	2		2				15
		実用英語Ⅱ	2		2				15
		実用英語Ⅲ	2			2			15
		韓国語		1	1				15
		中国語		1	1				15
		国際関係論		1		1			15
	ボランティア論		1		1			15	
専門基礎分野	人間尊重と人間関係の形成	医療と法（看護関係法規）	1			1			15
		精神医療論	1			1			15
	健康問題の解決	解剖生理学Ⅰ	2		2				15
		解剖生理学Ⅱ	2		2				15
		病理学	2		2				15
		生化学	1		1				15
		微生物学	1		1				15
		薬理学	1		1				15
		治療学概論	1		1				15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門基礎分野	健康問題の解決	疾病と治療Ⅰ (呼吸器系・消化器系)	2		2				15
		疾病と治療Ⅱ (血液系・循環器系)	2		2				15
		疾病と治療Ⅲ (神経系・骨筋系)	2			2			15
		疾病と治療Ⅳ (泌尿器系・生殖器系・内分泌系)	2			2			15
		疾病と治療Ⅴ (感覚器系・統合)	2			2			15
		臨床検査学演習	1			1			30
		臨床栄養学演習	1			1			30
		臨床薬理学演習	1			1			30
		公衆衛生学	2					2	15
		人間工学		1		1			15
	自己啓発能力	医療・看護情報学の基礎	1			1			15
		英語論文の講読	1				1		15
	キャリア開発能力	政策医療論	1		1				15
		保健医療福祉システム論		1		1			15
専門分野	基礎看護学	看護学原論	1		1				15
		看護倫理	1		1				15
		看護基礎理論	1		1				15
		看護教育学	2					2	15
		基礎看護学体験実習	1		1				45
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ (日常生活における援助技術と判断)	2		2				30
		看護実践技術論Ⅱ (治療・処置における援助技術と判断)	1		1				30
		看護実践技術論Ⅲ (看護技術の統合)	1		1				30
		ヘルスアセスメント	1		1				15
		フィジカルアセスメント	1		1				30
		看護過程と看護方法論	1		1				30
		基礎看護学展開実習	1		1				45
		基礎看護学統合実習	2			2			45

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門分野	臨床実践看護学	成人看護学概論	1		1				15
		成人看護実践論Ⅰ（急性期）	1				1		30
		成人看護実践論Ⅱ（慢性期）	1			1			30
		成人看護実践論Ⅲ（回復期）	1			1			30
		成人看護実践論Ⅳ（終末期）	1				1		30
		成人看護学実習Ⅰ（急性期）	2				2		45
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	2				2		45
		成人看護学実習Ⅲ（終末期）	2				2		45
		成人看護の探究	1				1		15
		老年看護学概論	1		1				15
		老年看護実践論	2			2			30
		老年看護学実習Ⅰ （地域で暮らす高齢者への看護）	2			2			45
		老年看護学実習Ⅱ （病と生きる高齢者への看護）	2				2		45
		家族看護学	1			1			15
		母性看護学概論	2			2			15
		母性看護実践論	2				2		30
		母性看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	2			2			15
		小児看護実践論	2				2		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神看護学概論	1			1			15
		精神看護実践論	2				2		30
		精神看護学実習	2				2		45
		臨床コミュニケーション論	1			1			15
		障害者看護論	1				1		15
		在宅看護学概論	2				2		15
		在宅看護実践論	2				2		30
	在宅看護学実習	2					2	45	
	地域看護学	地域看護学概論	1				1		15
		健康教育概論	1					1	15
		ヘルスプロモーション論	1					1	15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門分野	研究	看護研究の基礎	1				1		15
		英語論文のクリティーク	1					1	30
		卒業研究	3					3	30
	看護マネジメント	看護管理学	1					1	15
		医療安全学	1				1		15
		災害看護学	1					1	15
		看護学統合実習	3					3	45
	キャリア開発	国際看護学	1				1		15
		チーム医療とスキルミックス	1					1	15
		看護職とキャリア形成	1					1	15
		N P 論		1				1	15
		看護政策論		1				1	15

1-3. 東が丘・立川看護学部 看護学科（平成26年度入学生限り適用）

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
基盤分野	人間尊重と人間関係の形成	人間関係論	1		1				15	
		心理学	1		1				15	
		哲学		1	1				15	
		倫理学		1	1				15	
		人間と社会生活（現代社会論）		1	1				15	
		家族関係論		1	1				15	
		人間と法		2	2				15	
		性と文化		1	1				15	
	健康問題の解決	論理的思考	2		2				15	
		自然科学の基礎	1		1				15	
		スポーツ科学		2	2				15	
	自己啓発能力	統計学	2			2			15	
		教育学	2			2			15	
	キャリア開発能力	情報リテラシー	1		1				15	
		実用英語Ⅰ	2		2				15	
		実用英語Ⅱ	2		2				15	
		実用英語Ⅲ	2			2			15	
		韓国語		1	1				15	
		中国語		1	1				15	
		国際関係論		1		1			15	
		ボランティア論		1		1			15	
	専門基礎分野	人間尊重と人間関係の形成	医療と法（看護関係法規）	1			1			15
			精神医療論	1			1			15
		健康問題の解決	解剖生理学Ⅰ	2		2				15
			解剖生理学Ⅱ	2		2				15
			病理学	2		2				15
			生化学	1		1				15
			微生物学	1		1				15
薬理学			1		1				15	
治療学概論			1		1				15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門基礎分野	健康問題の解決	疾病と治療Ⅰ (呼吸器系・消化器系)	2		2				15
		疾病と治療Ⅱ (血液系・循環器系)	2		2				15
		疾病と治療Ⅲ (神経系・骨筋系)	2			2			15
		疾病と治療Ⅳ (泌尿器系・生殖器系・内分泌系)	2			2			15
		疾病と治療Ⅴ (感覚器系・統合)	2			2			15
		臨床検査学演習	1			1			30
		臨床栄養学演習	1			1			30
		臨床薬理学演習	1			1			30
		公衆衛生学	2					2	15
	人間工学		1		1			15	
	自己啓 発能力	医療・看護情報学の基礎	1			1			15
		英語論文の講読	1				1		15
	キャリア 開発能力	政策医療論	1		1				15
		保健医療福祉システム論		1		1			15
専門分野	基礎看護学	看護学原論	1		1				15
		看護倫理	1		1				15
		看護基礎理論	1		1				15
		看護教育学	2					2	15
		基礎看護学体験実習	1		1				45
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ (日常生活における援助技術と判断)	2		2				30
		看護実践技術論Ⅱ (治療・処置における援助技術と判断)	1		1				30
		看護実践技術論Ⅲ (看護技術の統合)	1		1				30
		ヘルスアセスメント	1		1				15
		フィジカルアセスメント	1		1				30
		看護過程と看護方法論	1		1				30
		基礎看護学展開実習	1		1				45
		基礎看護学統合実習	2			2			45

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門分野	臨床実践看護学	成人看護学概論	1		1				15
		成人看護実践論Ⅰ（急性期）	1				1		30
		成人看護実践論Ⅱ（慢性期）	1			1			30
		成人看護実践論Ⅲ（回復期）	1			1			30
		成人看護実践論Ⅳ（終末期）	1				1		30
		成人看護学実習Ⅰ（急性期）	2				2		45
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	2				2		45
		成人看護学実習Ⅲ（終末期）	2				2		45
		成人看護の探究	1				1		15
		老年看護学概論	1		1				15
		老年看護実践論	2			2			30
		老年看護学実習Ⅰ （地域で暮らす高齢者への看護）	2			2			45
		老年看護学実習Ⅱ （病と生きる高齢者への看護）	2				2		45
		家族看護学	1			1			15
		母性看護学概論	2			2			15
		母性看護実践論	2				2		30
		母性看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	2			2			15
		小児看護実践論	2				2		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神看護学概論	1			1			15
		精神看護実践論	2				2		30
		精神看護学実習	2				2		45
		臨床コミュニケーション論	1			1			15
		障害者看護論	1				1		15
		在宅看護学概論	2				2		15
	在宅看護実践論	2				2		30	
	在宅看護学実習	2					2	45	
	地域看護学	地域看護学概論	1				1		15
		健康教育概論	1					1	15
		ヘルスプロモーション論	1					1	15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門分野	研究	看護研究の基礎	1				1		15
		英語論文のクリティーク	1					1	30
		卒業研究	3					3	30
	看護マネジメント	看護管理学	1					1	15
		医療安全学	1				1		15
		災害看護学Ⅰ	1					1	15
		看護学統合実習	3					3	45
	キャリア開発	災害看護学Ⅱ		2				2	15
		国際看護学	1				1		15
		チーム医療とスキルミックス	1					1	15
		看護職とキャリア形成		1				1	15
		NP論		1				1	15
		看護政策論		1				1	15

- ・「災害看護学コース」：「災害看護学Ⅱ」を選択必修科目として履修すること。



1-4. 東が丘・立川看護学部 看護学科 (平成27年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
基礎分野	人間尊重と人間関係の形成	人間関係論	1		1				15
		心理学	1		1				15
		哲学		1	1				15
		倫理学		1	1				15
		社会学		1	1				15
		文化人類学		1	1				15
		法学		1	1				15
	健康問題の解決	論理学	2		2				15
		自然科学の基礎	1		1				15
		スポーツ科学		2	2				15
	自己啓発能力	統計学	2			2			15
		教育学	2			2			15
	キャリア開発能力	情報リテラシー	1		1				15
		実用英語Ⅰ	2		2				15
		実用英語Ⅱ	2		2				15
		実用英語Ⅲ	2			2			15
		中国語		1	1				15
		スペイン語		1	1				15
		社会保障制度概論		1		1			15
		ボランティア論		1		1			15
	専門基礎分野	人間尊重と人間関係	医療と法 (看護関係法規)	1			1		
健康問題の解決		医学概論	1		1				15
		解剖生理学Ⅰ	2		2				15
		解剖生理学Ⅱ	2		2				15
		病理学	2		2				15
		生化学	1		1				15
		微生物学	1		1				15
		薬理学	1		1				15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門基礎分野	健康問題の解決	疾病と治療Ⅰ (呼吸器系・消化器系)	2		2				15
		疾病と治療Ⅱ (血液系・循環器系)	2		2				15
		疾病と治療Ⅲ (神経系・骨筋系)	2			2			15
		疾病と治療Ⅳ (泌尿器系・生殖器系・内分泌系)	2			2			15
		疾病と治療Ⅴ (感覚器系・統合)	2			2			15
		疾病と治療Ⅵ (精神系)	1			1			15
		臨床検査学演習	1			1			30
		臨床栄養学演習	1			1			30
		臨床薬理学演習	1			1			30
		公衆衛生学	2			2			15
	人間工学		1		1			15	
	自己啓 発能力	医療・看護情報学の基礎	1			1			15
	キャリア 開発能力	実用医療英語	1				1		15
		政策医療論	1			1			15
保健医療福祉システム論			1		1			15	
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1		1				15
		看護倫理	1		1				15
		看護理論	1			1			15
		看護教育学	1					1	15
		看護学体験実習	1		1				45
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ (日常生活における援助技術と判断)	2		2				30
		看護実践技術論Ⅱ (治療・処置における援助技術と判断)	1		1				30
		看護実践技術論Ⅲ (看護技術の統合)	1		1				30
		ヘルスアセスメント	1		1				15
		フィジカルアセスメント	1		1				30
		看護過程と看護方法論	1		1				30
		日常生活援助展開実習	1		1				45
		看護過程展開実習	2			2			45

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門分野	臨床実践看護学	成人看護学概論	1		1				15
		急性期看護論	2				2		15
		慢性期看護論	2			2			15
		成人・老年看護実践論	2				2		30
		成人看護学実習Ⅰ（急性期）	2				2		45
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	2				2		45
		成人看護学実習Ⅲ（終末期）	2				2		45
		老年看護学概論	1		1				15
		老年期看護論	1			1			15
		老年看護実践論	1			1			30
		老年看護学実習Ⅰ （地域で暮らす高齢者の看護）	2			2			45
		老年看護学実習Ⅱ （病と生きる高齢者の看護）	2				2		45
		母性看護学概論	2			2			15
		母性看護実践論	2				2		30
		母性看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	2			2			15
		小児看護実践論	2				2		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神看護学概論	1			1			15
		精神看護実践論	2				2		30
		精神看護学実習	2				2		45
		臨床コミュニケーション論	1			1			15
		障害者看護論	1				1		15
統合分野	在宅看護学	家族看護学	1			1		15	
		在宅看護学概論	2				2	15	
		在宅看護実践論Ⅰ （在宅における看護技術と危機管理）	1				1	30	
		在宅看護実践論Ⅱ （地域におけるケアシステムと連携）	1					1	30
		在宅看護学実習	2					2	45

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
統合分野	地域看護学	地域看護学概論	1			1			15
		自立支援教育論	1			1			15
		疾病予防看護学	1			1			15
	研究	看護研究の基礎	1				1		15
		英語論文のクリティーク	1				1		30
		卒業研究	3					3	30
	看護マネジメント	看護管理学	1				1		15
		医療安全学	1				1		15
		災害看護学Ⅰ	1			1			15
		災害看護学Ⅱ		2			2		15
		看護学統合実習	3					3	45
	キャリア開発	国際看護学	1				1		15
		チーム医療論	1					1	15
		看護職とキャリア形成		1				1	15
		N P 論		1				1	15
		看護政策論		1				1	15

- ・「災害看護学コース」：「災害看護学Ⅱ」を選択必修科目として履修すること

別表第3

1-1. 東が丘看護学部 看護学科 (令和2年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
基礎分野	人間尊重と人間関係の形成	人間関係論	1		1				15
		心理学	1		1				15
		哲学		1	1				15
		倫理学		1	1				15
		社会学		1	1				15
		文化人類学		1	1				15
		法学		1	1				15
	健康問題の解決	論理学	2		2				15
		自然科学の基礎	1		1				15
		スポーツ科学		2	2				15
	看護場面のコーディネート	社会保障制度概論		1		1			15
		ボランティア論		1		1			15
	自己啓発能力	統計学	2			2			15
		情報リテラシー	1		1				15
	キャリア開発能力	教育学	2			2			15
		実用英語Ⅰ	2		2				15
		実用英語Ⅱ	2		2				15
		実用英語Ⅲ	2			2			15
		中国語		1	1				15
		スペイン語		1	1				15
	専門基礎分野	人間尊重と関係の形成	医療と法 (看護関係法規)	1			1		
健康問題の解決/看護技術力		医学概論	1		1				15
		解剖生理学Ⅰ	2		2				15
		解剖生理学Ⅱ	2		2				15
		病理学	2		2				15
		生化学	1		1				15
		微生物学	1		1				15
		薬理学	1		1				15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門基礎分野	健康問題の解決／看護技術力	疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・消化器系）	2		2				15
		疾病と治療Ⅱ（血液系・循環器系）	2		2				15
		疾病と治療Ⅲ（神経系・骨筋系）	2			2			15
		疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖器系・内分泌系）	2			2			15
		疾病と治療Ⅴ（感覚器系・統合）	2			2			15
		疾病と治療Ⅵ（精神系）	1			1			15
		臨床検査学演習	1			1			30
		臨床栄養学演習	1			1			30
		臨床薬理学演習	1			1			30
		公衆衛生学	2			2			15
	人間工学		1		1			15	
	自己啓発能力	医療・看護情報学の基礎	1			1			15
	キャリア開発能力	実用医療英語	1			1			15
		政策医療論	1			1			15
保健医療福祉システム論			1		1			15	
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1		1				15
		看護倫理	1		1				15
		看護理論	1			1			15
		看護教育学	1					1	15
		看護学体験実習	1		1				45
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ （日常生活における援助技術と判断）	2		2				30
		看護実践技術論Ⅱ （治療・処置における援助技術と判断）	1		1				30
		看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）	1		1				30
		ヘルスアセスメント	1		1				15
		フィジカルアセスメント	1		1				30
		看護過程と看護方法論	1		1				30
		日常生活援助展開実習	1		1				45
		看護過程展開実習	2			2			45

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門分野	臨床実践看護学	成人看護学概論	1		1				15
		急性期看護論	1				1		30
		慢性期看護論	1			1			30
		終末期看護論	1				1		30
		成人看護実践論	1				1		30
		成人看護の探求	1				1		15
		急性期看護学実習	2				2		45
		慢性期看護学実習	2				2		45
		終末期看護学実習	2				2		45
		老年看護学概論	1		1				15
		老年看護実践論	2			2			30
		家族看護学	1			1			15
		老年生活支援実習	2			2			45
		老年看護学実習	2				2		45
		母性看護学概論	2			2			15
		母性看護実践論	2				2		30
		母性看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	2			2			15
		小児看護実践論	2				2		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神看護学概論	1			1			15
		精神看護実践論	2				2		30
		精神看護学実習	2				2		45
		臨床コミュニケーション論	1			1			15
障害者看護論	1					1	15		
統合分野	在宅看護学	在宅看護学概論	2				2	15	
		在宅看護実践論Ⅰ (在宅における看護技術と危機管理)	1				1	30	
		在宅看護実践論Ⅱ (地域におけるケアシステムと連携)	1					1	30
		在宅看護学実習	2					2	45

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
統合分野	地域看護学	地域看護学概論	1			1			15
		自立支援教育論	1			1			15
		疾病予防看護学	1			1			15
	研究	看護研究の基礎	1				1		15
		英語論文のクリティーク	1				1		30
		卒業研究	3					3	30
	看護マネジメント	看護管理学	1				1		15
		医療安全学	1				1		15
		災害看護学	1			1			15
		看護学統合実習	3					3	45
	キャリア開発	国際看護学Ⅰ	1			1			15
		国際看護学Ⅱ		2			2		15
		チーム医療論	1					1	15
		看護職とキャリア形成	1					1	15
		N P 論		1				1	15
		看護政策論		1				1	15



1-2. 東が丘看護学部 看護学科 (令和4年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
基礎分野	人間尊重と人間関係の形成	人間関係論	1		1				15
		心理学	1		1				15
		哲学		1	1				15
		倫理学		1	1				15
		社会学		1	1				15
		文化人類学		1	1				15
		法学		2	2				15
	健康問題の解決	論理学	2		2				15
		自然科学の基礎	1		1				15
		スポーツ科学		2	2				15
	自己啓発能力	情報リテラシー	1		1				30
	キャリア開発能力	教育学	2			2			15
		実用英語Ⅰ	2		2				15
		実用英語Ⅱ	2		2				15
		実用英語Ⅲ	2			2			15
		中国語		1	1				15
		スペイン語		1	1				15
	専門基礎分野	人間尊重と人間関係の形成	医療と法(看護関係法規)	1			1		
カウンセリングの基礎				1		1			15
健康問題の解決・看護技術力		医学概論	1		1				15
		解剖生理学Ⅰ	2		2				15
		解剖生理学Ⅱ	2		2				15
		病理学	2		2				15
		微生物学	1		1				15
		薬理学	2		2				15
栄養学	1			1			15		

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門基礎分野	健康問題の解決・看護技術	疾病と治療Ⅰ (呼吸器系・消化器系)	2		2				15
		疾病と治療Ⅱ (血液系・循環器系)	2		2				15
		疾病と治療Ⅲ (神経系・骨筋系)	2			2			15
		疾病と治療Ⅳ (泌尿器系・生殖器系・内分泌系)	2			2			15
		疾病と治療Ⅴ (感覚器系・統合)	1			1			15
		疾病と治療Ⅵ (精神系)	1			1			15
		臨床検査学演習	1			1			30
		公衆衛生学	2			2			15
	看護場面のコーディネート	人間工学		1		1			15
		ボランティア論		1		1			15
	自己啓発能力	看護情報学・統計学演習	1			1			30
	キャリア開発能力	実用医療英語	1			1			15
		政策医療論	1			1			15
		保健医療福祉システム論	1			1			15
	専門分野	基礎看護学	看護学概論	1		1			
看護倫理			1		1				15
看護理論			1			1			15
看護教育学			1					1	15
看護学体験実習			1		1				45
基礎看護技術学		看護実践技術論Ⅰ (日常生活における援助技術と判断)	2		2				30
		看護実践技術論Ⅱ (治療・処置における援助技術と判断)	1		1				30
		看護実践技術論Ⅲ (看護技術の統合)	1		1				30
		ヘルスアセスメント	1		1				15
		フィジカルアセスメント	1			1			30
		看護過程と看護方法論	1		1				30
		日常生活援助展開実習	1		1				45
		看護過程展開実習	2			2			45

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
専門分野	地域・在宅看護学	地域看護学概論	1		1				15	
		自立支援教育論	1		1				15	
		疾病予防看護論	1			1			15	
		在宅看護学概論	2			2			15	
		在宅看護実践論	1				1		30	
		在宅看護学実習	2				2		45	
	臨床実践看護学	成人看護学概論	1		1				15	
		急性期看護論	1				1		30	
		慢性期看護論	1			1			30	
		終末期看護論	1				1		30	
		成人看護実践論	1				1		30	
		成人看護の探求	1					1	15	
		老年看護学概論	1		1				15	
		老年看護実践論	2			2			30	
		家族看護学	1			1			15	
		急性期看護学実習	2				2		45	
		慢性期看護学実習	3			3			45	
		終末期看護学実習	2				2		45	
		小児看護学概論	2			2			15	
		小児看護実践論	2				2		30	
		小児看護学実習	2				2		45	
		母性看護学概論	2			2			15	
		母性看護実践論	2				2		30	
		母性看護学実習	2				2		45	
		精神看護学概論	1			1			15	
		精神看護実践論	2				2		30	
		精神看護学実習	2				2		45	
		臨床コミュニケーション論	1			1			15	
		障害者看護論	1				1		15	
		統合分野	研究	看護研究の基礎	1				1	
	英語論文のクリティーク			1				1		30
	卒業研究			3					3	30
看護マネジメント	災害看護学		1			1			15	
	医療安全学		1				1		15	
	看護管理学		1				1		15	
	国際看護学Ⅰ		1			1			15	
国際看護学Ⅱ		2			2		15			

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
統合分野	看護 マネジメント	チーム医療論	1					1	15
		看護政策論		1				1	15
		看護学統合演習	1					1	30
		看護学統合実習	2					2	45
	キャリア マネジメント	看護職とキャリア形成	1					1	15
		NP論		1				1	15
		キャリア開発実習：クリティカルケア		2				2	45
		キャリア開発実習：がん看護		2				2	45
		キャリア開発実習：認知症患者のケア		2				2	45
		キャリア開発実習：重症心身障害者のケア		2				2	45
		キャリア開発実習：マタニティケア		2				2	45
		キャリア開発実習：精神疾患患者のケア		2				2	45
		キャリア開発実習：地域保健行政・在宅ケア		2				2	45
		キャリア開発実習：国際感染症患者のケア		2				2	45

別表第4

1-1. 立川看護学部 看護学科 (令和2年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
基礎分野	人間を尊重し人権を擁護する能力	文化人類学		1	1				15
		哲学		1	1				15
		倫理学		1	1				15
		社会学		1	1				15
		法学		1	1				15
	人間関係を形成する能力	人間関係論	1		1				15
		心理学	1		1				15
		実用英語Ⅰ	2		2				15
		実用英語Ⅱ	2		2				15
		実用医療・看護英語	2			2			15
		中国語		1	1				15
		スペイン語		1	1				15
	健康問題の解決	スポーツ科学		2	2				15
		教育学	2			2			15
		社会保障制度概論		1		1			15
	看護探究能力	災害ボランティア論		1		1			15
		情報リテラシー	1		1				15
		論理学	1		1				15
		自然科学の基礎	1		1				15
	専門基礎分野	健康問題の解決	統計学	2			2		
医療と法(看護関係法規)			1			1			15
医学概論			1		1				15
解剖生理学Ⅰ			2		2				15
解剖生理学Ⅱ			2		2				15
病理学			2		2				15
生化学			1		1				15
微生物学			1		1				15
薬理学			1		1				15
疾病と治療Ⅰ (呼吸器系・消化器系)			2		2				15
疾病と治療Ⅱ (血液系・循環器系)			2		2				15
疾病と治療Ⅲ (神経系・骨筋系)			2			2			15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門基礎分野	健康問題の解決	疾病と治療Ⅳ (泌尿器系・生殖器系・内分泌系)	2			2			15
		疾病と治療Ⅴ (感覚器系・統合)	2			2			15
		疾病と治療Ⅵ (精神系)	1			1			15
		臨床検査学演習	1			1			30
		臨床栄養学演習	1			1			30
		臨床薬理学演習	1			1			30
		公衆衛生学	2			2			15
		人間工学		1		1			15
	連携 協力 ・ 研 究 能 力 探	保健医療福祉システム論		1		1			15
		政策医療論	1			1			15
	専門分野	基礎看護学	看護学概論	1		1			15
			看護倫理	1		1			15
看護理論			1			1		15	
看護学体験実習			1		1			45	
基礎看護技術学		看護実践技術論Ⅰ (日常生活における援助技術と判断)	2			2			30
		看護実践技術論Ⅱ (治療・処置における援助技術と判断)	1			1			30
		看護実践技術論Ⅲ (看護技術の統合)	1			1			30
		ヘルスアセスメント	1			1			15
		フィジカルアセスメント	1			1			30
		看護過程と看護方法論	1			1			30
		日常生活援助展開実習	1			1			45
		看護過程展開実習	2			2			45
臨床実践看護学	成人看護学概論	1			1			15	
	急性期看護論	2				2		15	
	慢性期看護論	2				2		15	
	成人・老年看護実践論	2				2		30	
	成人看護学実習Ⅰ(急性期)	2				2		45	
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期)	2				2		45	
	成人看護学実習Ⅲ(終末期)	2				2		45	
	老年看護学概論	1			1			15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門分野	臨床実践看護学	老年期看護論	1			1			15
		老年看護実践論	1			1			30
		老年看護学実習Ⅰ (地域で暮らす高齢者の看護)	2			2			45
		老年看護学実習Ⅱ (病と生きる高齢者の看護)	2				2		45
		母性看護学概論	2			2			15
		母性看護実践論	2				2		30
		母性看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	2			2			15
		小児看護実践論	2				2		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神看護学概論	1			1			15
		精神看護実践論	2				2		30
		精神看護学実習	2				2		45
		臨床コミュニケーション論	1			1			15
		障害者看護論	1				1		15
統合分野	在宅看護学	家族看護学	1			1			15
		在宅看護学概論	2				2		15
		在宅看護実践論Ⅰ (在宅における看護技術と危機管理)	1				1		30
		在宅看護実践論Ⅱ (地域におけるケアシステムと連携)	1					1	30
		在宅看護学実習	2					2	45
	地域看護学	地域看護学概論	1			1			15
		自立支援教育論	1			1			15
		疾病予防看護学	1			1			15
	災害看護学	災害看護学Ⅰ	1		1				15
		災害看護学Ⅱ	1			1			15
		災害看護学Ⅲ	2				2		15
		災害看護学実習	1					1	45
	看護研究	看護研究の基礎	1				1		15
		英語論文のクリティーク	1				1		30
		災害看護学に関する卒業研究	3					3	30
統合看護学	看護管理学	1				1		15	
	医療安全学	1				1		15	
	国際看護学	1				1		15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
統合分野	統合看護学	看護学統合実習	2					2	45
		コミュニティ形成論		1				1	15
		チーム医療論		1				1	15
		看護職とキャリア形成		1				1	15
		看護教育学		1				1	15
		看護政策論		1				1	15



1-2. 立川看護学部 看護学科 (令和4年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
基礎分野	人間を尊重し人権を擁護する能力	文化人類学		1	1				15
		哲学		1	1				15
		倫理学		1	1				15
		社会学		1	1				15
		法学		1	1				15
		死生学	1		1				15
	人間関係を形成する能力	人間関係論	1		1				15
		心理学	1		1				15
		実用英語Ⅰ	2		2				15
		実用英語Ⅱ	2		2				15
		実用医療・看護英語	2			2			15
		中国語		1	1				15
		スペイン語		1	1				15
	健康問題の解決	スポーツ科学		2	2				15
		教育学	2			2			15
		社会保障制度概論		1		1			15
	災害対応能力	災害ボランティア論		1		1			15
		看護探求能力	情報リテラシー	1		1			15
			論理学	1		1			15
			自然科学の基礎	1		1			15
実践統計学	2			2			15		
専門基礎分野	人間を尊重し人権を擁護する能力	医療と法（看護関係法規）	1			1		15	
		健康問題の解決	医学概論	1		1			15
	解剖生理学Ⅰ		2		2			15	
	解剖生理学Ⅱ		2		2			15	
	病理学		2		2			15	
	生化学		1		1			15	
	微生物学		1		1			15	
	薬理学		1		1			15	
	疾病と治療Ⅰ (呼吸器系・消化器系)		2		2			15	
	疾病と治療Ⅱ (血液系・循環器系)		2		2			15	
	疾病と治療Ⅲ (神経系・骨筋系)		2			2		15	
	疾病と治療Ⅳ (泌尿器系・生殖器系・内分泌系)		2			2		15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門基礎分野	健康問題の解決	疾病と治療Ⅴ (感覚器系・統合)	2			2			15
		疾病と治療Ⅵ (精神系)	1			1			15
		臨床検査学演習	1			1			30
		臨床栄養学演習	1			1			30
		臨床薬理学演習	1			1			30
		疫学・保健統計	1		1				15
		公衆衛生学	2			2			15
	人間工学		1		1			15	
	連携・協 働する力	保健医療福祉システム論	1			1			15
		政策医療論	1			1			15
	看護探 求能力	医療・看護情報学の基礎	1			1			15
医療・看護論文の講読		1			1			30	
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1		1				15
		看護倫理	1		1				15
		看護理論	1			1			15
		看護学体験実習	1		1				45
	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ (日常生活における援助技術と判断)	2		2				30
		看護実践技術論Ⅱ (治療・処置における援助技術と判断)	1		1				30
		看護実践技術論Ⅲ (看護技術の統合)	1		1				30
		ヘルスアセスメント	1		1				15
		コミュニケーション技法	1		1				30
		フィジカルアセスメント	1			1			30
		看護過程と看護方法論	1		1				30
		日常生活援助展開実習	1		1				45
		看護過程展開実習	2			2			45
専門分野	地域・在宅看護学	家族看護学	1			1			15
		地域・在宅看護学概論	1		1				15
		地域・在宅看護支援論	2			2			15
		地域・在宅看護実践論Ⅰ (在宅における看護技術と危機管理)	1				1		30
		地域・在宅看護実践論Ⅱ (地域におけるケアシステムと連携)	1					1	30
		地域・在宅看護学実習	2					2	45
		自律支援教育論	1			1			15
		疾病予防看護学	1			1			30
	臨床実践 看護学	成人看護学概論	1		1				15
		急性期看護論	2				2		15
慢性期看護論		2			2			15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門分野	臨床実践看護学	成人・看護/老年看護実践 (A成人看護編・B老年看護編)	2				2		30
		老年看護学概論	1		1				15
		成人看護学実習Ⅰ(急性期)	2				2		45
		成人看護学実習Ⅱ(慢性期)	2				2		45
		老年期看護論	1			1			15
		老年看護実践論	1			1			30
		老年看護学実習Ⅰ (地域で暮らす高齢者の看護)	2			2			45
		老年看護学実習Ⅱ (病と生きる高齢者の看護)	2				2		45
		母性看護学概論	2			2			15
		母性看護実践論	2				2		30
		母性看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	2			2			15
		小児看護実践論	2				2		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神保健	1			1			15
		精神看護学概論	1			1			15
		精神看護実践論	2				2		30
		精神看護学実習	2				2		45
		障害者看護論	1				1		15
		専門分野	(災害対応能力 災害看護学)	災害看護学Ⅰ	1		1		
災害看護学Ⅱ	1					1			15
災害看護学Ⅲ	2						2		15
災害看護学実習	1							1	45
看護探求 能力	看護研究の基礎		1				1		15
	英語論文のクリティーク		1				1		30
	災害看護学に関する卒業研究		3					3	30
統合看護学	看護管理学		1				1		15
	医療安全学		1				1		15
	国際看護学		1				1		15
	看護学統合実習		2					2	45
	コミュニティ形成論			1				1	15
	チーム医療論			1				1	15
	看護職とキャリア形成		1				1	15	
	看護教育学		1				1	15	
看護政策論		1				1	15		

## 別表第5

## 1-1 千葉看護学部 看護学科 (平成30年度入学生限り適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
いのち・人間の教育分野		心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文化人類学		1	1				15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
		コミュニケーション概論	2		2				15
		経済学		2		2			15
		社会学		2	2				15
		教育学		1	1				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1	1				15
		家族社会学		1	1				15
		ダイバーシティ		1	1				15
		生物		1	1				15
		遺伝学		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		看護物理		1	1				15
		スポーツ科学		1	1				15
		スポーツ実習		1		1			30
		ボランティア論	1			1			15
		ボランティア活動		1		1			30
		英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ(ベーシックⅠ)	2		2				15
		英会話Ⅱ(ベーシックⅡ)	2		2				15
		英会話Ⅲ(アドバンス)		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		中国語		2	2				15
		ICTリテラシーⅠ(ベーシック)	2		2				15
	ICTリテラシーⅡ(アドバンス)		2	2				15	
	情報通信と保健医療		1		1			15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職 の教育分野	専門 支持	体の仕組みと働きⅠ (概論、血液と免疫系、循環器系、呼吸器系、 神経系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格系・筋系、消化器系、泌尿器系、恒常性の維持、 生殖系)	2		2				15
		体の仕組みと働き演習	1		1				30
		公衆衛生学	2		2				15
		栄養学総論	2		2				15
		医療における質の保証Ⅰ (概論、医療安全)	1			1			15
		医療における質の保証Ⅱ (情報管理、感染制御)	1				1		15
		医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学	2			2			15
		協働実践演習	1					1	30
		病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		疾病治療論Ⅰ (呼吸・循環・血液・腎・泌尿器系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ (骨格・筋・神経・内分泌・生殖系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		生活健康科学		2		2			15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		解剖生理学演習		1				1	30
		リラクゼーション論		1	1				15
		医用機器概論		1				1	15
代替医療論		1				1	15		

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	専門基幹	看護学概論	3		3				20
		生涯発達ケア論	2			2			15
		終生期看護援助論	2				2		15
		基礎看護援助方法Ⅰ (看護技術の基本)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ (日常生活の援助)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ (治療を受ける患者の援助)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ (対象の個別性に応じた援助)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ (基礎看護技術の統合)	1				1		30
		クリティカルシンキングⅠ (論理的思考の形成)	1		1				30
		クリティカルシンキングⅡ (論理的思考の展開)	1			1			30
		クリティカルシンキングⅢ (批判的思考の発展)	1				1		15
		看護研究	1					1	30
		チーム活動論 (チームビルディング)	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (生活援助実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (クリティカルシンキング実習)	2			2			45
		機能看護学Ⅰ (セルフマネジメント)	2		2				15
		機能看護学Ⅱ (キャリアマネジメント)	1			1			15
		機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント)	1				1		30
	機能看護学Ⅳ (トップマネジメント)		1				1	15	
	専門展開	母性看護援助論Ⅰ (健康生活援助)	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ (臨床看護援助)	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ (健康生活援助)	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ (臨床看護援助)	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5					5	45
		臨床看護援助論Ⅰ (急性期)	2			2			15
		臨床看護援助論Ⅱ (慢性期)	2			2			15
		臨床看護学実習 (急性期・慢性期)	5					5	45
老年看護援助論Ⅰ (健康生活援助)		2			2			15	
老年看護援助論Ⅱ (臨床看護援助)		1				1		30	
在宅看護援助論Ⅰ (健康生活援助)		1			1			30	
在宅看護援助論Ⅱ (療養生活援助)		1				1		30	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
専門職の 教育分野	専門 展開	老年・在宅看護学実習	5					5	45	
		精神看護援助論Ⅰ（精神保健）	2			2			15	
		精神看護援助論Ⅱ（精神看護）	1				1		30	
		精神看護学実習	3				3		45	
		公衆衛生看護援助論Ⅰ （対象別公衆衛生看護活動）	2		2				15	
		公衆衛生看護援助論Ⅱ （公衆衛生看護技術）		2			2		15	
		公衆衛生看護援助論Ⅲ （公衆衛生看護展開）		3				3	25	
		保健指導演習	1			1			30	
		地域保健活動演習	1			1			30	
		公衆衛生看護学実習		4				4	45	
		養護概論		2				2	15	
		学校健康相談		2				2	15	
		学校保健Ⅰ（学校保健の基礎的理解）		1	1				15	
	実践 統合	地域保健・医療の推進	1					1	30	
		国際看護論		1	1				15	
		災害看護援助論	1					1	15	
		看護の統合実習	2					2	45	
	養護教諭 教職課程（一 種免許状）	教職に 関する 科目	教職への道※1	2			2			15
			教育原理	1			1			15
			教育心理学	2			2			15
教育制度論			1			1			15	
教育課程論			1			1			15	
道徳教育の理論と方法			1				1		15	
特別活動の指導法			1				1		15	
教育方法論			1			1			15	
生徒指導論			2				2		15	
学校教育相談			2				2		15	
養護実習事前・事後指導			1					1	15	
養護実習			4					4	45	
教職実践演習（養護教諭）			2					2	15	
養護に 関する 科目		疫学・保健統計論	2			2			15	
		公衆衛生学	2		2				15	
		学校保健Ⅰ（学校保健の基礎的理解）	1		1				15	
		学校保健Ⅱ（学校保健の発展的展開）	1		1				15	
		養護概論	2				2		15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1 単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護に関する科目	学校健康相談	2				2		15
		栄養学総論	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ <small>（概論、血液と免疫系、循環器系、呼吸器系、神経系）</small>	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ <small>（骨格系・筋系、消化器系、泌尿器系、恒常性の維持、生殖器系）</small>	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		疾病治療論Ⅲ <small>（感覚・免疫・消化器系）</small>	2			2			15
		臨床薬理学	2			2			15
		精神看護援助論Ⅰ <small>（精神保健）</small>	2			2			15
		看護学概論	3		3				20
		臨床看護援助論Ⅰ <small>（急性期）</small>	2			2			15
	臨床看護学実習 <small>（急性期・慢性期）</small>	5					5	45	
	に 養護又は教職 に関する科目	クリティカルシンキングⅡ <small>（論理的思考の展開）</small>	1			1			30
	第 66 条 の 6 に 定 め る 科 目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1				15
		スポーツ実習	1			1			30
	英会話Ⅰ <small>（ベーシックⅠ）</small>	2		2				15	
	ICT リテラシーⅠ <small>（ベーシック）</small>	2		2				15	
免 許 状 課 程（二種 養護教諭教職		スポーツ科学	1		1				15
		スポーツ実習	1			1			30
		日本国憲法	2				2		15

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の  
共通開設科目



1-2 千葉看護学部 看護学科 (平成31年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
いのち・人間の教育分野		心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文化人類学		1	1				15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
		コミュニケーション概論	2		2				15
		経済学		2		2			15
		社会学		2	2				15
		教育学		1	1				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1	1				15
		家族社会学		1	1				15
		ダイバーシティ		1	1				15
		生物		1	1				15
		遺伝学		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		看護物理		1	1				15
		スポーツ科学		1	1				15
		スポーツ実習		1		1			30
		ボランティア論	1			1			15
		ボランティア活動		1		1			30
		英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ(ベーシックⅠ)	2		2				15
		英会話Ⅱ(ベーシックⅡ)	2		2				15
		英会話Ⅲ(アドバンス)		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		中国語		2	2				15
		ICTリテラシーⅠ(ベーシック)	2		2				15
	ICTリテラシーⅡ(アドバンス)		2	2				15	
	情報通信と保健医療		1		1			15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職 の教育分野	専門 支持	体の仕組みと働きⅠ (概論、血液と免疫系、循環器系、呼吸器系、 神経系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格系・筋系、消化器系、泌尿器系、恒常性の維 持、生殖系)	2		2				15
		体の仕組みと働き演習	1		1				30
		公衆衛生学	2		2				15
		栄養学総論	2		2				15
		医療における質の保証Ⅰ (概論、医療安全)	1			1			15
		医療における質の保証Ⅱ (情報管理、感染制御)	1				1		15
		医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学	2			2			15
		協働実践演習	1					1	30
		病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		疾病治療論Ⅰ (呼吸・循環・血液・腎・泌尿器系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ (骨格・筋・神経・内分泌・生殖系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		生活健康科学		2		2			15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		解剖生理学演習		1			1		30
		リラクゼーション論		1	1				15
		医用機器概論		1			1		15
代替医療論		1			1		15		

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	専門基幹	看護学概論	3		3				20
		生涯発達ケア論	2			2			15
		終生期看護援助論	2				2		15
		基礎看護援助方法Ⅰ (看護技術の基本)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ (日常生活の援助)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ (治療を受ける患者の援助)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ (対象の個別性に応じた援助)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ (基礎看護技術の統合)	1				1		30
		クリティカルシンキングⅠ (論理的思考の形成)	1		1				30
		クリティカルシンキングⅡ (論理的思考の展開)	1			1			30
		クリティカルシンキングⅢ (批判的思考の発展)	1				1		15
		看護研究	1					1	30
		チーム活動論 (チームビルディング)	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (生活援助実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (クリティカルシンキング実習)	2			2			45
		機能看護学Ⅰ (セルフマネジメント)	2		2				15
		機能看護学Ⅱ (キャリアマネジメント)	1			1			15
		機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント)	1				1		30
	機能看護学Ⅳ (トップマネジメント)		1				1	15	
	専門展開	母性看護援助論Ⅰ (健康生活援助)	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ (臨床看護援助)	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ (健康生活援助)	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ (臨床看護援助)	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5					5	45
		臨床看護援助論Ⅰ (急性期)	2			2			15
		臨床看護援助論Ⅱ (慢性期)	2			2			15
		臨床看護学実習 (急性期・慢性期)	5				5		45
老年看護援助論Ⅰ (健康生活援助)		2			2			15	
老年看護援助論Ⅱ (臨床看護援助)		1				1		30	
在宅看護援助論Ⅰ (健康生活援助)		1			1			30	
在宅看護援助論Ⅱ (療養生活援助)		1				1		30	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
専門職の教育分野	専門展開	老年・在宅看護学実習	5					5	45	
		精神看護援助論Ⅰ (精神保健)	2			2			15	
		精神看護援助論Ⅱ (精神看護)	1				1		30	
		精神看護学実習	3				3		45	
		公衆衛生看護援助論Ⅰ (対象別公衆衛生看護活動)	2		2				15	
		公衆衛生看護援助論Ⅱ (公衆衛生看護技術)		2			2		15	
		公衆衛生看護援助論Ⅲ (公衆衛生看護展開)		3				3	25	
		保健指導演習	1			1			30	
		地域保健活動演習	1			1			30	
		公衆衛生看護学実習		4				4	45	
		養護概論		2			2		15	
		学校健康相談		2			2		15	
		学校保健Ⅰ (学校保健の基礎的理解)		1	1				15	
	実践統合	地域保健・医療の推進	1					1	30	
		国際看護論		1	1				15	
		災害看護援助論	1					1	15	
		看護の統合実習	2					2	45	
	養護教諭教職課程 (一種免許状)	教育の基礎的理解に関する項目	教育原理	1			1			15
			教職論※1	2			2			15
			教育制度論	1			1			15
			教育心理学	2			2			15
			特別支援教育の基礎	1				1		15
教育課程論			1			1			15	
道徳、総合的な学習の時間等の 内容及び生徒指導、教育相談等 に関する科目		道徳教育/総合的な学習の時間の指導法	1				1		15	
		特別活動の指導法	1				1		15	
		教育方法論	1			1			15	
		生徒指導論	1				1		15	
		学校教育相談	2				2		15	
教育実践に 関する科目		養護実習事前・事後指導	1					1	15	
		養護実習	4					4	45	
		教職実践演習(養護教諭)	2					2	15	
養護に関する科目		疫学・保健統計論	2			2			15	
		公衆衛生学	2		2				15	
		学校保健Ⅰ (学校保健の基礎的理解)	1		1				15	
		学校保健Ⅱ (学校保健の発展的展開)	1		1				15	
		養護概論	2				2		15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護に関する科目	学校健康相談	2				2		15
		栄養学総論	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ <small>（概論、血液と免疫系、循環器系、呼吸器系、神経系）</small>	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ <small>（骨格系・筋系、消化器系、泌尿器系、恒常性の維持、生殖器系）</small>	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		疾病治療論Ⅲ <small>（感覚・免疫・消化器系）</small>	2			2			15
		臨床薬理学	2			2			15
		精神看護援助論Ⅰ <small>（精神保健）</small>	2			2			15
		看護学概論	3		3				20
		臨床看護援助論Ⅰ <small>（急性期）</small>	2			2			15
	臨床看護学実習 <small>（急性期・慢性期）</small>	5					5	45	
	大学が独自に設 定する科目	クリティカルシンキングⅡ <small>（論理的思考の展開）</small>	1			1			30
	第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1				15
		スポーツ実習	1			1			30
	英会話Ⅰ <small>（ベーシックⅠ）</small>	2		2				15	
	ICTリテラシーⅠ <small>（ベーシック）</small>	2		2				15	
養護教諭教職課程（二種免許状）	スポーツ科学	1		1				15	
	スポーツ実習	1			1			30	
	日本国憲法	2				2		15	

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の  
共通開設科目

1-3 千葉看護学部 看護学科 (令和4年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
いのち・人間の教育分野		心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		文化人類学		1	1				15
		生命倫理学		1	1				15
		医療と人間		1	1				15
		コミュニケーション概論	2		2				15
		経済学		2		2			15
		社会学		2	2				15
		教育学		1	1				15
		国際関係論		1		1			15
		認知科学		1	1				15
		人間関係論		1	1				15
		家族社会学		1	1				15
		ダイバーシティ		1	1				15
		生物		1	1				15
		遺伝学		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		基礎数学		1	1				15
		看護物理		1	1				15
		スポーツ科学		1	1				15
		スポーツ実習		1		1			30
		ボランティア論	1			1			15
		ボランティア活動		1		1			30
		英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ(ベーシックⅠ)	2		2				15
		英会話Ⅱ(ベーシックⅡ)	2		2				15
		英会話Ⅲ(アドバンス)		2		2			15
		専門英語		2			2		15
		中国語		2	2				15
		ICTリテラシーⅠ(ベーシック)	2		2				15
	ICTリテラシーⅡ(アドバンス)		2	2				15	
	情報通信と保健医療		1		1			15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	専門 支持	体の仕組みと働きⅠ (概論、血液と免疫系、循環器系、呼吸器系、 神経系)	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ (骨格系・筋系、消化器系、泌尿器系、恒常性の維 持、生殖器系)	2		2				15
		体の仕組みと働き演習	1		1				30
		公衆衛生学	2		2				15
		栄養学総論	2		2				15
		医療における質の保証Ⅰ (概論、医療安全)	1			1			15
		医療における質の保証Ⅱ (情報管理、感染制御)	1				1		15
		医学・医療概論	1		1				15
		臨床薬理学	2			2			15
		協働実践演習	1					1	30
		病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		疾病治療論Ⅰ (呼吸・循環・血液・腎・泌尿器系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ (骨格・筋・神経・内分泌・生殖系)	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ (感覚・免疫・消化器系)	2			2			15
		生活健康科学		2		2			15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政学	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		解剖生理学演習		1			1		30
		リラクゼーション論		1	1				15
		医用機器概論		1			1		15
代替医療論		1			1		15		

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門職の 教育分野	専門基幹	看護学概論	3		3				20
		生涯発達ケア論	2			2			15
		終生期看護援助論	2				2		15
		基礎看護援助方法Ⅰ (看護技術の基本)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ (日常生活の援助)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ (治療を受ける患者の援助)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅳ (対象の個別性に応じた援助)	1			1			30
		基礎看護援助方法Ⅴ (基礎看護技術の統合)	1				1		30
		クリティカルシンキングⅠ (論理的思考の形成)	1		1				30
		クリティカルシンキングⅡ (論理的思考の展開)	1			1			30
		クリティカルシンキングⅢ (批判的思考の発展)	1				1		15
		看護研究	1					1	30
		チーム活動論 (チームビルディング)	1				1		15
		基礎看護援助実習Ⅰ (生活援助実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (クリティカルシンキング実習)	2			2			45
		機能看護学Ⅰ (セルフマネジメント)	2		2				15
		機能看護学Ⅱ (キャリアマネジメント)	1			1			15
		機能看護学Ⅲ (組織とマネジメント)	1				1		30
	機能看護学Ⅳ (トップマネジメント)		1				1	15	
	専門展開	母性看護援助論Ⅰ (健康生活援助)	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ (臨床看護援助)	1				1		30
		小児看護援助論Ⅰ (健康生活援助)	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ (臨床看護援助)	1				1		30
		母性・小児看護学実習	5					5	45
		臨床看護援助論Ⅰ (急性期)	2			2			15
		臨床看護援助論Ⅱ (慢性期)	2			2			15
		臨床看護学実習 (急性期・慢性期)	5					5	45
老年看護援助論Ⅰ (健康生活援助)		2			2			15	
老年看護援助論Ⅱ (臨床看護援助)		1				1		30	
在宅看護援助論Ⅰ (健康生活援助)		2			2			30	
在宅看護援助論Ⅱ (療養生活援助)		1					1	30	



分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
専門職の教育分野	専門展開	老年・在宅看護学実習	5					5	45	
		精神看護援助論Ⅰ (精神保健)	2			2			15	
		精神看護援助論Ⅱ (精神看護)	1				1		30	
		精神看護学実習	3				3		45	
		公衆衛生看護援助論Ⅰ (対象別公衆衛生看護活動)	2		2				15	
		公衆衛生看護援助論Ⅱ (公衆衛生看護技術)		2			2		15	
		公衆衛生看護援助論Ⅲ (公衆衛生看護展開)		3				3	25	
		地域の健康危機管理と施策化・事業化		1			1		30	
		保健指導演習	1			1			30	
		地域保健活動演習	1			1			30	
		公衆衛生看護学実習		4				4	45	
		養護概論		2			2		15	
		学校健康相談		2			2		15	
		学校保健Ⅰ (学校保健の基礎的理解)		1	1				15	
	実践統合	地域保健・医療の推進	1					1	30	
		国際看護論		1	1				15	
		災害看護援助論	1					1	15	
		看護の統合実習	2					2	45	
	養護教諭教職課程 (一種免許状)	教育の基礎的理解に関する項目	教育原理	1			1			15
			教職論※1	2			2			15
教育制度論			1			1			15	
教育心理学			2			2			15	
特別支援教育の基礎			1				1		15	
教育課程論			1			1			15	
道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談に関する科目		道徳教育／総合的な学習の時間の指導法	1				1		15	
		特別活動の指導法	1				1		15	
		教育方法論	1			1			15	
		生徒指導論	1				1		15	
		学校教育相談	2				2		15	
教育実践に関する科目		養護実習事前・事後指導	1					1	15	
		養護実習	4					4	45	
		教職実践演習(養護教諭)	2					2	15	
養護に関する科目		疫学・保健統計論	2			2			15	
		公衆衛生学	2		2				15	
		学校保健Ⅰ (学校保健の基礎的理解)	1		1				15	
		学校保健Ⅱ (学校保健の発展的展開)	1		1				15	
		養護概論	2				2		15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護に関する科目	学校健康相談	2				2		15
		栄養学総論	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ <small>（概論、血液と免疫系、循環器系、呼吸器系、神経系）</small>	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ <small>（骨格系・筋系、消化器系、泌尿器系、恒常性の維持、生殖器系）</small>	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		疾病治療論Ⅲ <small>（感覚・免疫・消化器系）</small>	2			2			15
		臨床薬理学	2			2			15
		精神看護援助論Ⅰ <small>（精神保健）</small>	2			2			15
		看護学概論	3		3				20
		臨床看護援助論Ⅰ <small>（急性期）</small>	2			2			15
	臨床看護学実習 <small>（急性期・慢性期）</small>	5					5	45	
	大学が独自に設 定する科目	クリティカルシンキングⅡ <small>（論理的思考の展開）</small>	1			1			30
	第66条の6に定める科目	日本国憲法	2				2		15
		スポーツ科学	1		1				15
		スポーツ実習	1			1			30
	英会話Ⅰ <small>（ベーシックⅠ）</small>	2		2				15	
	ICTリテラシーⅠ <small>（ベーシック）</small>	2		2				15	
養護教諭教職課程（二種免許状）	スポーツ科学	1		1				15	
	スポーツ実習	1			1			30	
	日本国憲法	2				2		15	

※1 医療保健学部看護学科・医療保健学部医療栄養学科・千葉看護学部看護学科の  
共通開設科目

別表第6

1-1 和歌山看護学部 看護学科 (平成30年度入学生限り適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
		スタディスキル	1		1				30
豊かな人間性を育む分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		芸術		1		1			15
		教育心理学		2		2			15
		生命倫理学		1	1				15
	社会参加	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2		2			15
		社会学		2	2				15
		日本国憲法		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		文化人類学		1		1			15
		ボランティア論	1		1				15
	ボランティア活動		1	1				30	
	自然科学	生物学		1	1				15
		化学		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		物理学		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ (入門)	2		2				15
		英会話Ⅱ (基礎)	2		2				15
		英会話Ⅲ (発展)		2		2			15
		医療英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
		韓国語		2	2				15
情報科学	情報リテラシー	2		2				15	
	情報科学		2	2				15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
看護の基盤をつくる分野	人のからだ と健康	体の仕組みと働きⅠ <small>(呼吸・循環・血液・消化器系)</small>	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ <small>(骨格・筋・神経・腎・内分泌・生殖系)</small>	2		2				15
		解剖生理学演習		1			1		30
		生活健康科学		2	2				15
		リラクゼーション論		1			1		15
		医学・医療概論	1		1				15
		病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		栄養学	2		2				15
		臨床薬理学	2		2				15
		疾病治療論Ⅰ <small>(呼吸・循環・血液・腎・泌尿器系)</small>	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ <small>(骨格・筋・神経・内分泌・生殖系)</small>	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ <small>(感覚・免疫・消化器系)</small>	2			2			15
		医用機器概論		1				1	15
	地域の健康	わかやま学	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政論	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		学校保健Ⅰ <small>(学校保健の概要)</small>	1			1			15
		学校保健Ⅱ <small>(学校保健と学習指導要領)</small>	1				1		15
	チーム医療と 専門職	キャリア教育Ⅰ <small>(仕事と職業)</small>	1		1				15
		キャリア教育Ⅱ <small>(専門職と倫理)</small>	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ <small>(看護職のキャリア)</small>	1				1		15
		医療マネジメント論		2			2		15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
看護実践能力を高める分野	看護の基礎	看護学概論	2		2				15
		基礎看護援助方法Ⅰ (看護技術の基本)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ (生命兆候と体の観察)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ (快適な環境と清潔)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅳ (食事と排泄)	1			1			30
		臨床看護技術	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅠ (論理的思考)	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ (看護過程演習)	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ (研究計画演習)	1					1	30
		看護倫理	1					1	15
		基礎看護援助実習Ⅰ (看護観察・体験実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護展開実習)	2			2			45
	地域成育支援	母性看護学概論	1			1			30
		母性看護援助論Ⅰ (ウイメンズヘルスと看護)	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ (周産期の看護)	1					1	30
		母性看護学実習	2					2	45
		小児看護学概論	1			1			30
		小児看護援助論Ⅰ (子どもの成長発達と看護)	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ (健康障害をもつ子どもの看護)	1					1	30
		小児看護学実習	2					2	45
		養護概論		2			2		15
		学校健康相談		2				2	15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
看護実践能力を高める分野	地域療養生活支援	成人看護学概論	1		1				30
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期・回復期看護援助論	2			2			15
		終末期看護援助論	1				2		15
		健康教育演習		1			1		15
		急性期看護学実習	3					3	45
		慢性期・回復期看護学実習	3					3	45
		老年看護学概論	1		1				30
		老年看護援助論Ⅰ <small>(高齢者の健康生活を支える看護)</small>	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ <small>(健康障害を持つ高齢者の看護)</small>	1			1			30
		老年看護学実習	3					3	45
		精神看護学概論	1			1			30
		精神看護援助論Ⅰ <small>(心の健康を維持・増進する看護)</small>	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ <small>(心の健康障害をもつ対象の看護)</small>	1				1		30
		精神看護学実習	2					2	45
	看護の統合と発展	地域看護学概論	2		2				15
		地域看護活動論	1			1			15
		地域看護活動実習	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅰ <small>(在宅看護における基本技術)</small>	2			2			15
		在宅看護援助論Ⅱ <small>(在宅における看護過程)</small>	1				1		30
		在宅看護学実習	2					2	45
		公衆衛生看護活動論		2			2		15
		国際看護論	1				1		15
		災害看護援助論Ⅰ <small>(災害医療・看護の基礎)</small>	1					1	30
		災害看護援助論Ⅱ <small>(災害看護活動)</small>		1				1	30
		看護マネジメント		2			2		15
		医療安全管理学	2			2			15
看護統合実習	2					2	45		

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
関連科目	公衆衛生看護	公衆衛生看護活動展開論		3				3	15	
		公衆衛生看護管理論		1				1	15	
		産業保健		1			1		15	
		公衆衛生看護学実習		5				5	45	
養護教諭教職課程(一種免許状)	教職に関する科目	教職への道	2			2			15	
		教育原理	1			1			15	
		教育心理学	2			2			15	
		教育制度論	1			1			15	
		教育課程論	1			1			15	
		道徳教育の理論と方法	1			1			15	
		特別活動の指導法	1			1			15	
		教育方法論	1			1			15	
		生徒指導論	2					2	15	
		学校教育相談	2					2	15	
		養護実習 事前事後指導	1						1	15
		養護実習	4						4	45
		教職実践演習(養護教諭)	2						2	15
		養護に関する科目	疫学・保健統計学	2			2			15
	保健医療福祉行政論		2			2			15	
	公衆衛生学		2			2			15	
	学校保健Ⅰ(学校保健の概要)		1			1			15	
	学校保健Ⅱ(学校保健と学習指導要領)		1					1	15	
	養護概論			2				2	15	
	学校健康相談			2				2	15	
	栄養学		2			2			15	
	体の仕組みと働きⅠ (呼吸・循環・血液・消化器系)		2			2			15	
	体の仕組みと働きⅡ (骨格・筋・神経・腎・内分泌・生殖器系)		2			2			15	
	病原微生物学		2			2			15	
	臨床薬理学		2			2			15	
	精神看護学概論		1				1		30	
	精神看護援助論Ⅰ (心の健康を維持・増進する看護)		2				2		15	
	看護学概論		2			2			15	
	基礎看護援助実習Ⅰ(看護観察・体験実習)		1			1			45	
	基礎看護援助実習Ⅱ(看護展開実習)		2				2		45	
	看護統合実習		2					2	45	
	小児看護学概論	1				1		30		

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（二種免許状）	養護に関する科目	小児看護援助論Ⅱ <small>（健康障害をもつ子どもの看護）</small>	1				1		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神看護援助論Ⅱ <small>（心の健康障害をもつ対象の看護）</small>	1				1		30
		急性期看護援助論	2			2			15
		急性期看護学実習	3				3		45
	養護又は教職に関する科目	クリティカル・シンキングⅡ <small>（看護過程演習）</small>	1			1			30
	第66の6に規定する科目 教育職員免許法施行規則	日本国憲法		2	2				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
		英会話Ⅰ（入門）	2		2				15
		英会話Ⅱ（基礎）	2		2				15
		情報リテラシー	2		2				15
	養護教諭教職課程（二種免許状）	スポーツ科学	1		1	1	1		15
スポーツ実習		1		1	1	1		30	
日本国憲法		2				2		15	



1-2 和歌山看護学部 看護学科 (平成31年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
		スタディスキル	1		1				30
豊かな人間性を育む分野	いのち・人間	心理学	2		2				15
		哲学と宗教		2	2				15
		芸術		1		1			15
		教育心理学		2		2			15
		生命倫理学		1	1				15
	社会参加	コミュニケーション概論		2	2				15
		経済学		2		2			15
		社会学		2	2				15
		日本国憲法		2	2				15
		国際関係論		1		1			15
		ジェンダー論		1		1			15
		文化人類学		1		1			15
		ボランティア論	1		1				15
	ボランティア活動		1	1				30	
	自然科学	生物学		1	1				15
		化学		1	1				15
		データサイエンス	2		2				15
		物理学		1	1				15
		スポーツ科学		1	1	1	1		15
		スポーツ実習		1	1	1	1		30
	外国語	英語講読・記述	2		2				15
		英会話Ⅰ (入門)	2		2				15
		英会話Ⅱ (基礎)	2		2				15
		英会話Ⅲ (発展)		2		2			15
		医療英語		2			2		15
		フランス語		2	2				15
韓国語			2	2				15	
情報科学	情報リテラシー	2		2				15	
	情報科学		2	2				15	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
看護の基盤をつくる分野	人のからだと健康	体の仕組みと働きⅠ <small>(呼吸・循環・血液・消化器系)</small>	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ <small>(骨格・筋・神経・腎・内分泌・生殖系)</small>	2		2				15
		解剖生理学演習		1			1		30
		生活健康科学		2	2				15
		リラクゼーション論		1			1		15
		医学・医療概論	1		1				15
		病原微生物学	2		2				15
		病態生理学	2		2				15
		治療学総論	1		1				15
		栄養学	2		2				15
		臨床薬理学	2		2				15
		疾病治療論Ⅰ <small>(呼吸・循環・血液・腎・泌尿器系)</small>	2			2			15
		疾病治療論Ⅱ <small>(骨格・筋・神経・内分泌・生殖系)</small>	2			2			15
		疾病治療論Ⅲ <small>(感覚・免疫・消化器系)</small>	2			2			15
		医用機器概論		1			1		15
	地域の健康	わかやま学	2		2				15
		公衆衛生学	2			2			15
		社会福祉論	2			2			15
		保健医療福祉行政論	2			2			15
		疫学・保健統計論	2			2			15
		学校保健Ⅰ <small>(学校保健の概要)</small>	1			1			15
		学校保健Ⅱ <small>(学校保健と学習指導要領)</small>	1				1		15
	チーム医療と 専門職	キャリア教育Ⅰ <small>(仕事と職業)</small>	1		1				15
		キャリア教育Ⅱ <small>(専門職と倫理)</small>	1			1			15
		キャリア教育Ⅲ <small>(看護職のキャリア)</small>	1				1		15
		医療マネジメント論		2			2		15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
看護実践能力を高める分野	看護の基礎	看護学概論	2		2				15
		基礎看護援助方法Ⅰ (看護技術の基本)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅱ (生命兆候と体の観察)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅲ (快適な環境と清潔)	1		1				30
		基礎看護援助方法Ⅳ (食事と排泄)	1			1			30
		臨床看護技術	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅠ (論理的思考)	1		1				30
		クリティカル・シンキングⅡ (看護過程演習)	1			1			30
		クリティカル・シンキングⅢ (研究計画演習)	1					1	30
		看護倫理	1					1	15
		基礎看護援助実習Ⅰ (看護観察・体験実習)	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ (看護展開実習)	2			2			45
	地域成育支援	母性看護学概論	1			1			30
		母性看護援助論Ⅰ (ウイメンズヘルスと看護)	2			2			15
		母性看護援助論Ⅱ (周産期の看護)	1					1	30
		母性看護学実習	2					2	45
		小児看護学概論	1			1			30
		小児看護援助論Ⅰ (子どもの成長発達と看護)	2			2			15
		小児看護援助論Ⅱ (健康障害をもつ子どもの看護)	1					1	30
		小児看護学実習	2					2	45
		養護概論		2				2	15
		学校健康相談		2				2	15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
看護実践能力を高める分野	地域療養生活支援	成人看護学概論	1		1				30
		急性期看護援助論	2			2			15
		慢性期・回復期看護援助論	2			2			15
		終末期看護援助論	1					2	15
		健康教育演習		1				1	15
		急性期看護学実習	3					3	45
		慢性期・回復期看護学実習	3					3	45
		老年看護学概論	1		1				30
		老年看護援助論Ⅰ <small>(高齢者の健康生活を支える看護)</small>	2			2			15
		老年看護援助論Ⅱ <small>(健康障害を持つ高齢者の看護)</small>	1			1			30
		老年看護学実習	3					3	45
		精神看護学概論	1			1			30
		精神看護援助論Ⅰ <small>(心の健康を維持・増進する看護)</small>	2			2			15
		精神看護援助論Ⅱ <small>(心の健康障害をもつ対象の看護)</small>	1					1	30
	精神看護学実習	2					2	45	
	看護の統合と発展	地域看護学概論	2		2				15
		地域看護活動論	1			1			15
		地域看護活動実習	1			1			30
		在宅看護援助論Ⅰ <small>(在宅看護における基本技術)</small>	2			2			15
		在宅看護援助論Ⅱ <small>(在宅における看護過程)</small>	1				1		30
		在宅看護学実習	2					2	45
		公衆衛生看護活動論		2			2		15
		国際看護論	1				1		15
		災害看護援助論Ⅰ <small>(災害医療・看護の基礎)</small>	1					1	30
		災害看護援助論Ⅱ <small>(災害看護活動)</small>		1				1	30
		看護マネジメント		2				2	15
医療安全管理学		2			2			15	
看護統合実習	2					2	45		
関連科目	公衆衛生看護	公衆衛生看護活動展開論		3				3	15
		公衆衛生看護管理論		1				1	15
		産業保健		1			1		15
		公衆衛生看護学実習		5				5	45

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（二種免許状）	教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	1			1			15
		教職論	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		特別支援教育の基礎	1					1	15
		教育課程論	1			1			15
	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生活指導、教育相談等に関する科目	道徳教育/総合的な学習の時間の指導法	1					1	15
		特別活動の指導法	1					1	15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1					1	15
		学校教育相談	2					2	45
	教育実践に関する科目	養護実習事前・事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習（養護教諭）	2					2	15
	養護に関する科目	疫学・保健統計学	2			2			15
		保健医療福祉行政論	2			2			15
		公衆衛生学	2			2			15
		学校保健Ⅰ（学校保健の概要）	1			1			15
		学校保健Ⅱ（学校保健と学習指導要領）	1					1	15
		養護概論	2					2	15
		学校健康相談	2					2	15
		栄養学	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ （呼吸・循環・血液・消化器系）	2		2				15
		体の仕組みと働きⅡ （骨格・筋・神経・腎・内分泌・生殖系）	2		2				15
		病原微生物学	2		2				15
		臨床薬理学	2		2				15
		精神看護学概論	1			1			30
		精神看護援助論Ⅰ （心の健康を維持・増進する看護）	2			2			15
		看護学概論	2		2				15
		基礎看護援助実習Ⅰ（看護観察・体験実習）	1		1				45
		基礎看護援助実習Ⅱ（看護展開実習）	2			2			45
	看護統合実習	2					2	45	
	小児看護学概論	1			1			30	

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
養護教諭教職課程（一種免許状）	養護に関する科目	小児看護援助論Ⅱ <small>（健康障害をもつ子どもの看護）</small>	1				1		30	
		小児看護学実習	2				2		45	
		精神看護援助論Ⅱ <small>（心の健康障害をもつ対象の看護）</small>	1				1		30	
		急性期看護援助論	2			2			15	
		急性期看護学実習	3				3		45	
	大学が独自に設定する科目	クリティカル・シンキングⅡ <small>（看護過程演習）</small>	1			1			30	
	第66の6に規定する科目 教育職員免許法施行規則	日本国憲法	2		2				15	
		スポーツ科学	1		1	1	1		15	
		スポーツ実習	1		1	1	1		30	
		英会話Ⅰ（入門）	2		2				15	
		英会話Ⅱ（基礎）	2		2				15	
		情報リテラシー	2		2				15	
	職課程（二種免許状）	養護教諭教	スポーツ科学	1		1	1	1		15
		職課程（二種免許状）	スポーツ実習	1		1	1	1		30
		職課程（二種免許状）	日本国憲法	2				2		15

1-3. 和歌山看護学部 看護学科 (令和4年度入学生から適用)

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数	
			必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次		
教養分野	アカデミック・スキル	アカデミックスキル	1		1				15	
		パーソナル・コンピューター入門		1	1				15	
		情報リテラシー	1		1				30	
		情報科学概論		1	1				15	
		看護学研究基礎	1				1		15	
		統計	データサイエンス	2		2				15
			疫学・保健統計論	2			2			15
		言語	論理的表現法	1		1				30
			英語	2		2				15
			英語講読・記述		2				2	15
		外国語	フランス語		2	2				15
			韓国語		2	2				15
	英会話Ⅰ(基礎)		2		2				15	
	英会話Ⅱ(発展)			2		2			15	
	医療英語			2				2	15	
	人文・社会	心理学	1		1				15	
		ボランティア論		1	1				15	
		医学・医療概論	1		1				15	
		哲学と宗教		2	2				15	
		日本国憲法		2	2				15	
		コミュニケーション論	1		1				15	
		ボランティア活動		1	1				30	
		生命倫理学		1	1				15	
		社会学		2	2				15	
		教育心理学		2		2			15	
		ジェンダー論		1		1			15	
		文化人類学		1		1			15	
		芸術		1		1			15	
		経済学		2		2			15	
		国際関係論		1		1			15	
		自然科学	生物学		1	1				15
	化学			1	1				15	
	物理学			1	1				15	

分類	区分		科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
				必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
教養分野	教養一般	身体科学	スポーツ科学		1	1				15
			スポーツ実習		1	1				30
	キャリア教育	キャリア教育Ⅰ	1		1				15	
		キャリア教育Ⅱ	1			1			15	
		キャリア教育Ⅲ	1					1	15	
専門分野	人体の構造と機能	体の仕組みと働きⅠ	1		1				15	
		体の仕組みと働きⅡ	1		1				15	
		体の仕組みと働きⅢ	1		1				15	
		体の仕組みと働きⅣ	1		1				15	
		解剖生理学演習		1		1			30	
	疾病の成り立ちと回復の促進	治療学総論	1		1				15	
		疾病治療論Ⅰ	1		1				15	
		疾病治療論Ⅱ	1		1				15	
		疾病治療論Ⅲ	1			1			15	
		疾病治療論Ⅳ	1			1			15	
		疾病治療論Ⅴ	1			1			15	
		疾病治療論Ⅵ	1			1			15	
		栄養学	2		2				15	
		病原微生物学	2		2				15	
		病態生理学	2		2				15	
		臨床薬理学	2			2			15	
		リラクゼーション論		1			1		15	
	医用機器概論		1			1		15		
	健康支援と社会(保障制度)	わかやま学	1		1				15	
		公衆衛生学	2		2				15	
		生活環境科学		1	1				15	
		保健医療福祉行政論	2			2			15	
		社会福祉論		2		2			15	
		学校保健Ⅰ		1		1			15	
		学校保健Ⅱ		1		1			15	
	看護学	看護汎用全般、Special、一般	看護理論	1		1				15
			看護マネジメント	2					2	15
看護倫理			1				1		15	
わかやま生活健康探索実習			2			2			45	
医療安全管理学			1					1	15	
総合看護学演習				1				1	30	



分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
専門分野	基礎看護	基礎看護学概論	1		1				15
		基礎看護学実践論Ⅰ	1		1				30
		基礎看護学実践論Ⅱ	1		1				30
		基礎看護学実践論Ⅲ	1		1				30
		基礎看護学実践論Ⅳ	1			1			30
		基礎看護学実践論Ⅴ	1			1			30
		基礎看護学実践方法論	2			2			15
		基礎看護学実習Ⅰ	1		1				45
		基礎看護学実習Ⅱ	2			2			45
	看護学 領域別看護Ⅰ	地域・在宅看護学概論	1		1				15
		地域看護活動論	2			2			15
		在宅看護学実践論Ⅰ	2			2			15
		在宅看護学実践論Ⅱ	1				1		30
		在宅看護学実習	2				2		45
		成人看護学概論	1		1				15
		急性期看護学実践論	1			1			15
		急性期・回復期看護学実践論	1			1			30
		周術期看護過程実践演習	1				1		30
		慢性期看護学実践論	1				1		30
		エンド・オブ・ライフ・ケア 看護学実践論	1				1		15
		急性期看護学実習	2				2		45
		慢性期看護学実習	2				2		45
		老年看護学概論	1			1			15
		老年看護学実践論Ⅰ	2			2			15
		老年看護学実践論Ⅱ	1				1		30
		老年看護学実習	2				2		45
		小児看護学概論	1			1			30
		小児看護学実践論Ⅰ	2			2			15
		小児看護学実践論Ⅱ	1				1		30
		小児看護学実習	2				2		45
		母性看護学概論	1			1			15
		母性看護学実践論Ⅰ	2			2			15
		母性看護学実践論Ⅱ	1				1		30
		母性看護学実習	2				2		45
		精神看護学概論	1			1			30
		精神看護学実践論Ⅰ	2			2			15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1年次	2年次	3年次	4年次	
専門分野	領域別看護	精神看護学実践論Ⅱ	1				1		30
		精神看護学実習	2				2		45
	領域別看護Ⅱ	災害看護学実践論Ⅰ		2				2	15
		災害看護学実践論Ⅱ		1				1	15
		国際看護学		1				1	15
	看護学 公衆衛生看護	公衆衛生看護学概論	1		1				15
		公衆衛生看護活動論		2			2		15
		産業保健		1			1		15
		公衆衛生看護活動展開論		4				4	15
		公衆衛生看護管理論		1				1	15
		公衆衛生看護学実習		5				5	45
	看護統合実践	看護統合実習 A	2					2	45
		看護統合実習 B	2					2	45
	看護研究	看護研究	2					2	30
養護教諭教職課程（一種免許状）	科目 教育の基礎的理解に関する	教育原理	1			1			15
		教職論	2			2			15
		教育制度論	1			1			15
		教育心理学	2			2			15
		特別支援教育の基礎	1				1		15
		教育課程論	1			1			15
養護教諭教職課程（一種免許状）	の道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生活指導、教育相談等に関する科目	道徳教育/総合的な学習の時間の指導法	1				1		15
		特別活動の指導法	1			1			15
		教育方法論	1			1			15
		生徒指導論	1				1		15
		学校教育相談	2				2		45
	教育実践に関する科目	養護実習事前・事後指導	1					1	15
		養護実習	4					4	45
		教職実践演習（養護教諭）	2					2	15

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（一種免許状）	養護に関する科目	疫学・保健統計論	2			2			15
		保健医療福祉行政論	2			2			15
		公衆衛生学	2		2				15
		学校保健Ⅰ	1			1			15
		学校保健Ⅱ	1			1			15
		養護概論	2				2		15
		学校健康相談	2				2		15
		栄養学	2		2				15
		体の仕組みと働きⅠ	1		1				15
		体の仕組みと働きⅡ	1		1				15
		体の仕組みと働きⅢ	1		1				15
		体の仕組みと働きⅣ	1		1				15
		病原微生物学	2		2				15
		臨床薬理学	2			2			15
		精神看護学概論	1			1			30
		精神看護学実践論Ⅰ	2			2			15
		看護学概論	1		1				15
		基礎看護学実習Ⅰ	1		1				45
		基礎看護学実習Ⅱ	2			2			45
		看護統合実習A	2					2	45
		小児看護学概論	1			1			30
		小児看護学実践論Ⅱ	1				1		30
		小児看護学実習	2				2		45
		精神看護学実践論Ⅱ	1				1		30
急性期看護学実践論	1			1			15		
急性期看護学実習	2				2		45		

分類	区分	科目	単位数		配当年次及び単位数				1単位 当たりの 時間数
			必修	選択	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
養護教諭教職課程（一種免許状）	大学が独自に 設定する科目	基礎看護学実践方法論	2			2			15
	第66の6に規定する科目 教育職員免許法施行規則	日本国憲法	2		2				15
		スポーツ科学	1		1				15
		スポーツ実習	1		1				30
		英会話Ⅱ（発展）	2			2			15
		パーソナル・コンピューター入門	1		1				15
		情報リテラシー	1		1				30
養護教諭教職課程 （二種免許状）	スポーツ科学	1		1				15	
	スポーツ実習	1		1				30	
	日本国憲法	2		2				15	
	学校保健Ⅰ	1			1			15	
	学校保健Ⅱ	1			1			15	
	公衆衛生看護活動論		2			2		15	

## 別表第7

1-1. 助産学専攻科（平成23年度入学生まで適用）＜削除＞

1-2. 助産学専攻科（平成24年度入学生から適用）

区分	授業科目	単位数		1単位 当たりの 時間数
		必修	選択	
助産学基礎・ 関連領域	助産学概論	2		15
	生殖の形態と機能	2		15
	母子と栄養	1		15
	家族支援論	1		15
	ウイメンズヘルス	1		15
助産学実践領域	助産診断・技術学Ⅰ	3		30
	助産診断・技術学Ⅱ	3		30
	周産期の生理と病態	2		15
	健康教育論	1		15
	地域母子保健学	2		15
	助産管理学	2		15
助産学実習	助産学実習Ⅰ（分娩介助実習）	6		45
	助産学実習Ⅱ（長期継続実習）	2		45
	助産学実習Ⅲ（NICU・GCU見学実習）	1		45
	助産学実習Ⅳ（集団への健康教育）	1		45
	助産学実習Ⅴ（助産管理学実習）	1		45
助産学発展領域	助産学研究	1		30
	生命倫理学	1		15
	医療安全管理学	1		15
	代替医療論		1	15
	リラクゼーション論		1	15
計		34	2	

1-3. 助産学専攻科（令和4年度入学生から適用）

区分	授業科目	単位数		1単位 当たりの 時間数
		必修	選択	
関連領域 助産学基礎	助産学概論	1		15
	生殖の形態と機能	2		15
	母子と栄養	1		15
	家族支援論	1		15
	ウイメンズヘルス	1		15
助産学実践領域	助産診断・技術学Ⅰ	3		30
	助産診断・技術学Ⅱ	3		30
	周産期の生理と病態	2		15
	健康教育論	1		15
	地域母子保健学	2		15
	乳幼児の発育・発達とケア	1		15
	助産管理学	2		15
助産学実習	助産学実習Ⅰ（分娩介助実習）	6		45
	助産学実習Ⅱ（長期継続実習）	2		45
	助産学実習Ⅲ（NICU・GCU見学実習）	1		45
	助産学実習Ⅳ（集団への健康教育）	1		45
	助産学実習Ⅴ（助産管理学実習）	1		45
助産学 発展領域	助産学研究	1		30
	生命倫理学	1		15
	医療安全管理学	1		15
	リラクゼーション論		1	15
計		34	1	

## 別表第8

## 1-1. 和歌山助産学専攻科

区分	授業科目	単位数		1単位 当たりの 時間数
		必修	選択	
助産学基礎領域	助産学概論	1		15
	ウイメンズヘルス総論	1		15
	マタニティヘルス総論（周産期の生理と病態）	2		15
	乳幼児の成長・発達	1		15
	母子と家族の心理社会学	1		15
	生殖医療と生命倫理学	1		15
助産学実践領域	助産診断・技術学Ⅰ（妊娠準備期から妊娠期）	2		15
	助産診断・技術学Ⅱ（分娩期）	2		15
	助産診断・技術学Ⅲ（産褥期）	1		30
	助産診断・技術学Ⅳ（新生児・乳幼児）	1		30
	助産診断技術学演習（分娩介助）	2		30
	周産期の救命救急演習	1		30
	健康教育演習	1		30
	カウンセリング論	1		15
	地域母子保健学	2		15
	助産管理学	2		15
	助産学実習Ⅰ	2		45
	助産学実習Ⅱ	7		45
	助産学実習Ⅲ	1		45
	助産学実習Ⅳ	2		45
助産学発展領域	助産学研究	1		30
	災害と助産	1		15
	英語文献講読	1		15
	遠隔診療技術の基礎		1	15
	国際母子保健活動論		1	15
計		37	2	

別表第9 医療保健学部、東が丘・立川看護学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、  
和歌山看護学部 検定料 (単位 円)

学部学科 費目	各学部看護学科	医療保健学部 医療栄養学科	医療保健学部 医療情報学科
	検定料	35,000	35,000

別表第10 医療保健学部、東が丘・立川看護学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、  
和歌山看護学部 学費、諸納金 (単位 円)

学部学科 費目	各学部看護学科	医療保健学部 医療栄養学科	医療保健学部 医療情報学科
	学 費	入学金	300,000
授業料		1,000,000	800,000
施設費		300,000	300,000
維持費		150,000	150,000
実験実習費		別に定めるところによる	参加実習毎に個別徴収
① 授業料、施設費は4月と10月に1/2ずつ納入。 ② 入学金は、入学時のみの納入とし、翌年度以降は納入不要。 ③ 在学中の学費は経済情勢の変動により改定することがある。 ④ 諸納金については別に定めるところによる。			

別表第11 助産学専攻科 検定料、学費及び諸納金 (単位 円)

検定料	入学金	授業料	実験実習費	維持運営費
35,000	210,000	600,000	550,000	250,000

※諸納金については別に定めるところによる。



別表第 12 和歌山助産学専攻科 検定料、学費及び諸納金 (単位 円)

検定料	入学金	授業料	施設維持費
35,000	210,000	1,150,000	250,000

※諸納金については別に定めるところによる。

別表第 13 医療保健学部、東が丘・立川看護学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部 科目等履修生の学費

(単位 円)

学部学科 費目	各学部看護学科	医療保健学部 医療栄養学科	医療保健学部 医療情報学科
選考料	35,000		
在籍料	別に定める		
受講料	別に定める		

別表第 14 医療保健学部、東が丘・立川看護学部、東が丘看護学部、立川看護学部、千葉看護学部、和歌山看護学部 研究生の学費

(単位 円)

学部学科 費目	各学部看護学科	医療保健学部 医療栄養学科	医療保健学部 医療情報学科
在籍料	別に定める		